

9/19/1 Links

Derwent WPIX

(c) 2005 Thomson Derwent. All rights reserved.

010900093 **Image available**

WPI Acc No: 1996-397044/199640

XRPX Acc No: N96-334484

Plastic based disposable accessory to handle liquid paints -
is formed as matching cross section open cylinder to fit into paint can
and has paraxial corrugations to confer it integrity

Patent Assignee: NAGASHIMA H (NAGA-I); NAGASHIMA KK (NAGA-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 8192851	A	19960730	JP 94234143	A	19940902	199640 B

Priority Applications (No Type Date): JP 94234143 A 19940902

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 8192851	A		15	B65D-025/16	

Abstract (Basic): JP 8192851 A

The plastic based disposable accessory is formed out of a single sheet as a cylinder through use of an adhesive. The cross section is made circular or rectangular. Paraxial folds are incorporated into it that is described as alternating ridges and valleys.

The accessory is attached to a paint can carrying liquid paint and serves as a multipurpose paint holding tool. Its proportions and shaped is varied over a wide range and fabrication is fast and simple.

ADVANTAGE - Keeps paint holding cans clean. Helps in transfer of contents. Serves several other purposes like standing of empty cans, brush holding and has decorative appeal and application. Conserves paint and keeps environs clean.

Dwg.3/19

BEST AVAILABLE COPY

特開平8-192851

(43) 公開日 平成8年(1996)7月30日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 25/16				
85/00	3 2 1	0333-3E		

審査請求 未請求 請求項の数12 F D (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願平6-234143

(22) 出願日 平成6年(1994)9月2日

(71) 出願人 000214663
長島 広久
埼玉県川越市大字下赤坂大野原718番地
八洲工業株式会社 川越工場内

(71) 出願人 000150682
株式会社長島
東京都練馬区桜台1丁目18番6号

(72) 発明者 長島 広久
埼玉県川越市赤坂大野原718番 八洲工業
株式会社川越工場内

(72) 発明者 田中 雅弘
埼玉県坂戸市三光町53番8号

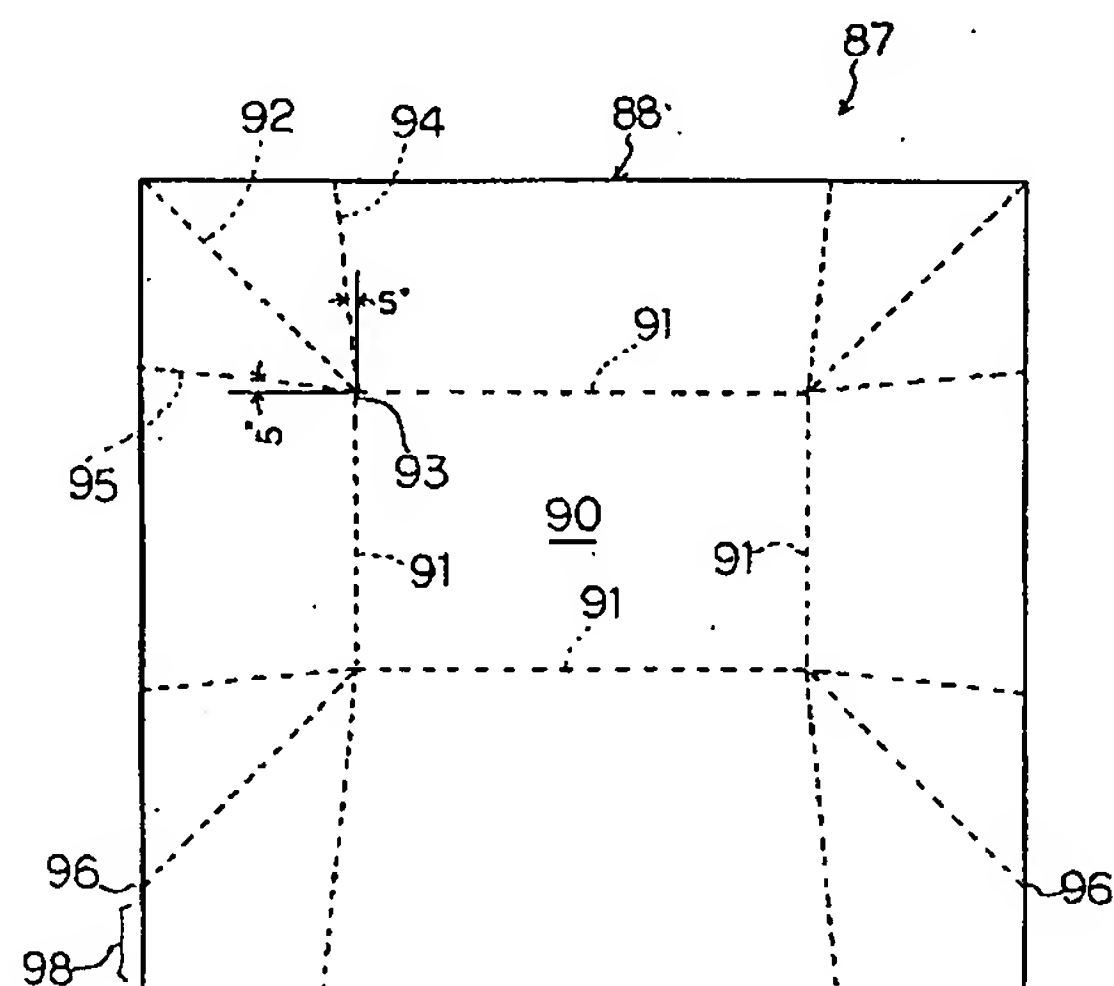
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 鍔付容器及び刷毛等の扱き補助具

(57) 【要約】

【目的】 塗料容器の開口部縁を汚すことなく安心して刷毛を扱くことができる鍔付容器及び刷毛等の扱き補助具を提供する。

【構成】 塗料が漏れないようコーティングした強度のある紙製の四角形のシート本体88に、容器本体89の底部90を形成するための四角形の底部折目線91と、この底部折目線91の四角のそれぞれから外側に向かって中央折目線92がひかれ、この中央折目線92の始点93を始点にして中央折線92の左右に容器本体89の側壁を形成するための側壁折目線94、95が底部折目線91から内側に5度絞られてひかれている。さらに、シート本体88の外周と中央折目線92の接点96より外側に、容器本体89の開口部97の上に形成される鍔部98が設けられている。各折目線を折曲げて合わせ接合すると、鍔部98が上方に突き出した鍔付容器87が出来上る。鍔部98を開口部97で外側に折り返して傾斜を付け扱き部分99を形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

容器を形成するシート本体と、

このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、

前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、

前記底部折目谷側線の各角から外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、

この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鏝部を形成する鏝部折目谷側線と、

前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、

この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側に適宜な角度をつけてひかれた前記鏝部を形成する鏝部折目山側線とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項2】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

容器を形成する四角形のシート本体と、

このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、

前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、

前記底部折目谷側線の各角から直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、

この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鏝部を形成する鏝部折目谷側線と、

前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、

この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側に適宜な角度をつけて直線的にひかれた前記鏝部を形成する鏝部折目山側線とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項3】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

外周が円形になる鏝部を開口部に有する容器を形成するための略円形状のシート本体と、

このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、

前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、

前記底部折目谷側線の各角から直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、

この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鏝部を形成する鏝部折目谷側線と、

前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、

この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側に適宜な角度をつけて直線的にひかれた前記鏝部を形成する鏝部折目山側線とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項4】 底部折目谷側線と対向する開口部線部分を開口部折目山側線とし、該開口部折目山側線間の開口部線部分を開口部折目谷側線としたことを特徴とする請求項1、2又は3記載の鏝付容器。

【請求項5】 長さを調節できる持手を設けたことを特徴とする請求項1、2、3又は4記載の鏝付容器。

【請求項6】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

容器本体と、

この容器本体の開口部から拵るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項7】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

容器本体と、

この容器本体の開口部から拵るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ、前記塗料容器等のエリア内に入る鏝部と、

この鏝部の外周に形成された前記塗料容器等の開口部縁の上部を被う被部とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項8】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

この容器本体の開口部から拵るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部と、

この鏝部に設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとこの持手の下方が埋り込み該持手を立った状態に保持する溝とからなることを特徴とする鏝付容器。

【請求項9】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

この容器本体の開口部から拵るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に

溢れるのを防ぐ鍔部と、

この鍔部の一部をカットして設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとき持手の下方が通りやすくするためのカット部とからなることを特徴とする鍔付容器。

【請求項 10】 塗料容器等に収納などして使用する容器であって、

この容器を形成する四角形のシート本体と、

このシート本体にひかれた前記容器の容器本体の底部を形成するための四角形の底部折目線と、

この底部折目線の角から外側に向かってひかれた中央折目線と、

この中央折目線の始点を始点にして該中央折目線の左右にひかれた、前記容器本体の側壁を形成するための側壁折目線と、

前記シート本体の外周と前記中央折目線の接点より外側に形成された、前記容器本体の開口部縁上に形成される鍔部とからなることを特徴とする鍔付容器。

【請求項 11】 シート本体あるいは容器本体が紙製部材に合成樹脂製部材等をコーティングした部材からなっていることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5、6、7 又は 8 記載の鍔付容器。

【請求項 12】 塗料容器等の内側に入る貫通した挿入部と、

この挿入部の開口部から拵るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛等を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鍔部と、

この鍔部に設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとこの持手の下方が埋り込み該持手を立てた状態に保持する溝とからなることを特徴とする刷毛等の扱き補助具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、塗料容器等に収納などして使用する鍔付容器及び刷毛等の扱き補助具に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の塗装作業のときなどに塗料を入れて使用する塗料容器は、上部が開口された容器本体と、この容器本体に取り付けられ容器本体を吊り持つための持手から構成されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の塗料容器は、以下に述べるような問題があった。直接塗料を入れて使用するため、容器内に付着した塗料を洗浄するための大量の溶剤が必要で、作業効率も悪く不経済でもあった。また、使用済みの溶剤を不当投棄するなど、環境を汚染する行為が後を立たず社会的問題ともなっている。また、塗料を含んだ刷毛を扱くとき塗料容器の内壁や開口部縁で扱くため、外に溢れないようにと大変気を使い扱き動作が行ない難く、ちょっとしたミスで開口部縁からは塗料が溢れ容器外壁を汚し、蓋の埋り溝を埋めてしまうなど

の問題があった。本発明は、以上のような従来の技術の持つ問題点に鑑みてなされたものであって、その目的は、塗料容器として使用した場合、塗料容器の開口部縁を汚すことなく安心して刷毛を扱くことができる鍔付容器及び刷毛等の扱き補助具を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上述したような従来技術の問題点を解決するために、本発明に係る鍔付容器は次のような構成とした。塗料容器等に収納などして使用する容器であって、容器を形成するシート本体と、このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、前記底部折目谷側線の各角から外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鍔部を形成する鍔部折目谷側線と、前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側に適宜な角度をつけてひかれた前記鍔部を形成する鍔部折目山側線とからなっている。本明細書で言う「折目山側線」とは、容器の内側に山を形成するように折曲がるようにした折目である。

「折目谷側線」とは、容器の内側に谷を形成するように折曲がるようにした折目である。「折目線」とは折目のことであって、目に見える線がひいてある場合もひいていない場合もある。「開口部線」とは、線が引かれているという意味だけではなく、容器に形成された場合に開口部を形成する部分という意味で使用しており、線が引かれていない場合も含むものである。「塗料容器等に収納などして使用する容器であって、」とは、塗料容器等に収納しないでそのまま容器として使用する場合も含まれるという意味である。

【0005】また、容器を形成する四角形のシート本体と、このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、前記底部折目谷側線の各角から直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鍔部を形成する鍔部折目谷側線と、前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側

に適宜な角度をつけて直線的にひかれた前記鏝部を形成する鏝部折目山側線とからなる鏝付容器もよい。

【0006】また、外周が円形になる鏝部を開口部に有する容器を形成するための略円形状のシート本体と、このシート本体の中央に設けられた、前記容器の容器本体の底部を形成するための多角形状の底部折目谷側線と、前記容器本体の開口部を表わす開口部線と、前記底部折目谷側線の各角から直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた前記容器本体の側壁を形成する壁部折目谷側線と、この壁部折目谷側線と前記開口部線の接点から該壁部折目谷側線側を延長してなる鏝部を形成する鏝部折目谷側線と、前記底部折目線の各角と前記折目谷側線の接点を始点にし、該壁部折目谷側線に対して適宜な角度をつけて直線的に外側に向かって全体として放射状になるように前記開口部線迄ひかれた壁部折目山側線と、この壁部折目山側線と前記開口部線の接点において該壁部折目谷側線側に適宜な角度をつけて直線的にひかれた前記鏝部を形成する鏝部折目山側線とからなる鏝付容器もよい。

【0007】また、底部折目谷側線と対向する開口部線部分を開口部折目山側線とし、該開口部折目山側線間の開口部線部分を開口部折目谷山側線とした鏝付容器もよい。

【0008】また、長さを調節できる持手を設けた鏝付容器もよい。

【0009】また、容器本体と、この容器本体の開口部から拡るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部とからなる鏝付容器もよい。

【0010】また、容器本体と、この容器本体の開口部から拡るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ、塗料容器等のエリア内に入る鏝部と、この鏝部の外周に形成された前記塗料容器等の開口部縁の上部を被う被部とからなる鏝付容器もよい。

【0011】また、容器本体の開口部から拡るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部と、この鏝部に設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとこの持手の下方が埋り込み該持手を立った状態に保持する溝とからなる鏝付容器もよい。

【0012】また、容器本体の開口部から拡るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部と、この鏝部の一部をカットして設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとき持手の下方が通りやすくするためのカット部とからなる鏝付容器もよい。

【0013】また、容器を形成する四角形のシート本体と、このシート本体にひかれた前記容器の容器本体の底部を形成するための四角形の底部折目線と、この底部

折目線の角から外側に向かってひかれた中央折目線と、この中央折目線の始点を始点にして該中央折目線の左右にひかれた、前記容器本体の側壁を形成するための側壁折目線と、前記シート本体の外周と前記中央折目線の接点より外側に形成された、前記容器本体の開口部縁上に形成される鏝部とからなる鏝付容器もよい。

【0014】また、シート本体あるいは容器本体が紙製部材に合成樹脂製部材等をコーティングした部材からなっている鏝付容器もよい。

【0015】また、本発明に係る鏝付容器は次のような構成とした。塗料容器等の内側に入る貫通した挿入部と、この挿入部の開口部から拡るように形成された、該開口部で塗料等を含んだ刷毛等を扱いても該塗料等が外側に溢れるのを防ぐ鏝部と、この鏝部に設けた、前記塗料容器等の持手を立てるとこの持手の下方が埋り込み該持手を立てた状態に保持する溝とからなっている。

【0016】

【作用】本発明に係る鏝付容器は上述したような構成としたので、以下に述べるように作用する。底部折目谷側線、壁部折目谷側線、壁部折目山側線、鏝部折目谷側線、鏝部折目山側線を折り曲げて容器にし、容器形状が保持されるように適宜な場所をステプラーなどで機械的に止めるとか接着や融着などすることにより、略円筒形の鏝付きの容器が形成される。この容器を塗料容器に収納し、塗料を収納し刷毛で塗装作業を行なう。その際、塗料容器の開口部縁は鏝によって塗料から保護され、鏝の開口部は刷毛を扱う格好の場所として使用でき、扱われた塗料は鏝に阻まれ鏝外に溢れることがなく容器内に流れ込む。

【0017】また、四角形のシート本体を用いた鏝付容器は、底部折目谷側線、壁部折目谷側線、壁部折目山側線、鏝部折目谷側線、鏝部折目山側線を折り曲げて容器にし、容器形状が保持されるように適宜な場所を接着や融着することにより、略円筒形（略円筒状台形も含まれる）の容器本体の開口部に鏝が形成され、さらに四方に鋭く突出した鏝（以下「突き出し鏝」という。）を設けた鏝付容器が形成される。この容器を塗料容器に収納し、塗料を収納し刷毛で塗装作業を行なう。その際、塗料容器の開口部縁は鏝によって塗料から保護され、鏝の開口部は刷毛を扱う格好の場所として使用でき、扱われた塗料は鏝に阻まれ鏝外に溢れることがなく容器内に流れ込む。また、突き出し鏝が独特の美感と雰囲気を与えるので塗料容器の容器以外に、鑑賞植物を植えた鉢入れなどの置き容器や吊り容器、帽子、紙屑を投げ込みやすい屑籠、電気スタンドなど電灯の傘などにもなる。

【0018】また、外周が円形になる鏝部を開口部に有する容器を形成するための略円形状のシート本体を用いた鏝付容器は、底部折目谷側線、壁部折目谷側線、壁部折目山側線、鏝部折目谷側線、鏝部折目山側線を折り曲げて容器にし、容器形状が保持されるように適宜な場所

を接着や融着することにより、略円筒形の容器に円形の罫を設けた罫付きの容器が形成される。この罫付容器を塗料容器の内容器として使用すれば、罫付容器の開口部は刷毛を扱う格好の場所として使用できる。また、円形の罫と折目線が独特の美感と雰囲気を与えるので、例えば鑑賞植物を植えた鉢入れ、帽子などとして利用できる。

【0019】また、底部折目谷側線と対向する開口部線部分を開口部折目山側線とし、該開口部折目山側線間の開口部線部分を開口部折目谷側線とした罫付容器は、開口部線が谷・山の折目線を交互形成してあるので、罫付容器成形のさい開口部折目谷側線と開口部折目山側線が容易に折曲がり罫部が歪みなく形成される。

【0020】また、長さを調節できる持手を設けた罫付容器は、例えば遊園地やイベント会場で、ポップコーンなどを入れた容器として使用し、吊り紐により手に下げながら移動することができ、さらに頭に被り持手を顎紐として使用できる。

【0021】また、容器本体の開口部から拡るように形成された罫部を設けた罫付容器は、次のように作用する。塗料容器に罫付容器を収納して塗料を入れ、罫付容器の容器本体の開口部を刷毛の扱き場所として使用する。その際、扱き取った塗料は罫部が防壁となり外に溢れのが阻止される。

【0022】また、塗料容器等のエリア内に入る罫部と、この罫部の外周に形成された前記塗料容器等の開口部縁の上部を被う被部とからなる罫付容器は次のように作用する。罫部を含め罫付容器全体が塗料容器内に収納され、被部が該塗料容器の開口部縁を被う。塗料を含んだ刷毛を罫付容器の容器本体の開口部で外に溢れさせることなく快適に扱きすることができる。

【0023】また、罫部に持手を立った状態に保持する溝を設けた罫付容器は、塗料容器等に罫付容器を収納すると該塗料容器等の開口部外側に罫部と溝が突き出してセットされる。その際、溝は持手の根元上部に位置するようにする。持手を起こし上げると該持手の下方が溝に埋り込み、持手は塗料容器との開口部上に立った状態に保持される。

【0024】また、持手を立てるとき持手の下方が通りやすくするため罫部の一部をカットしたカット部を設けた罫付容器は、持手のお越し操作及び倒し操作が従来と同じようにできる。

【0025】また、容器を形成する四角形のシート本体と、このシート本体にひかれた底部折目線、中央折目線、側壁折目線と、前記容器本体の開口部縁上に形成される罫部とからなる罫付容器は次のように作用する。底部折目線と中央折目線を谷側折り、側壁折目線を山側におり、対向する側壁折目線同士を合わせ、外側に突き出した側壁折目線から中央折目線の突出部分を外側に折曲げ側壁に接着や融着などにより固定する。開口部縁上に

形成された罫部を、折曲げたり押し曲げたりして外側に開くようにする。こうしてできた罫付容器を、例えば空の塗料容器に入れ塗料を注ぎ入れ塗装作業を行なう。その際、罫部の下部の折曲げた場所は刷毛を扱う場所として利用しても、扱き取られた塗料は罫を伝って容器内に収納される。

【0026】また、シート本体あるいは容器本体が紙製部材に合成樹脂製部材等をコーティングした部材からなっている罫付容器は、形崩れし難く水や溶剤を洩らさず焼却しやすい特性であるとともに安価なので、焼却などして処理が行ないやす。

【0027】刷毛等の扱き補助具は塗料容器等の開口部に補助具の挿入部を差し込み、溝は持手の根元上部に位置するようにする。補助具の開口部を刷毛扱き場所として使用し、持手は起こすと溝に埋り込み立った状態に保持されるので刷毛のつり下げ場所として利用できる。

【0028】

【実施例】本発明の実施例を図面を参照しながら説明する。ただし、この実施例に記載されている構成部品の形状、大きさ、材質、数、その相対配置などは、特に特定の記載がないかぎり、本発明の範囲をそれらのみに限定する趣旨のものではなく、単なる説明例にすぎない。

【0029】実施例1

図1は本発明の実施例1を示す展開図、図2は同じ実施例1を示す折目線のある程度折曲げた状態の斜視図及び図3は同じ実施例1を示す罫付容器にした状態の斜視図である。罫付容器1は次のような構成となっている。四角形のラミネート加工した紙製シート材からなるシート本体2の中央に正六角形の底部19となる底部折目谷側線3がひかれ外周近くには開口部線4が存在し、底部折目谷側線3の各角から直線的に外側に向かって全体として放射状に拡るように開口部線4迄側壁を形成する壁部折目谷側線5がひかれ、壁部折目谷側線5と開口部線4の接点6から壁部折目谷側線5側を延長してなる罫部7を形成する罫部折目谷側線8がひかれ、底部折目線3の各角と壁部折目谷側線5の接点9を始点にし壁部折目谷側線5対して10度の角度をつけて直線的に外側に向かって全体として放射状になるように開口部線4迄ひかれた壁部折目山側線10がひかれ、壁部折目山側線10と開口部線4の接点11から壁部折目谷側線10側に10度の角度がつけられて直線的にひかれた罫部7を形成する罫部折目山側線12がひかれている。13は突き出し罫である。底部折目谷側線3、壁部折目谷側線5、壁部折目山側線10、罫部折目谷側線8、罫部折目山側線12を折り曲げて容器にし、容器形状が保持されるように適宜な場所を接着や融着することにより、略円筒状台形の容器本体14の開口部15に四方に鋭く突出した突き出し罫13を設けた罫付容器1が形成される。23は罫開口部線である。

【0030】実施例2

図4は本発明の実施例2を示す展開図及び図5は同じ実施例2の使用状態を示す斜視図である。上記実施例1と同一の構成部分には同じ符号を使用し、同一の部分については説明を省略する。本実施例の鍔付容器16は、実施例1の鍔付容器1の底部折目谷側線3と対向する開口部線4部分に開口部折目山側線17をひき、開口部折目山側線17、17間の開口部線4部分に開口部折目谷側線18をひいた構成となっている。20は鍔開口部22にひかれた鍔開口部折目谷側線、21は鍔開口部山側線である。図5において、鍔付容器16に2本の紐からなる持手24、24が取り付けられている。図5においては、この持手24、24を顎紐として使用し、容器を帽子として使用している。顎紐（持手）を設ければ、帽子をしっかりと頭に固定することができるとともに、ポップコーンなどの容器として使用する場合は持手として使用できるので、帽子にもなり容器にもなり大変便利である。その際、ポップコーン等は紙袋などに収納して鍔付容器に収納すれば、後で頭に被った場合頭を汚すことがない。また、側壁に施したイラストなどが、帽子にした場合には正立してみえるようにし、容器にした場合には逆さまになるようにするとか、上下に向かい合うイラストを施すなどすると面白い。

【0031】実施例3

図6は本発明の実施例3を示す部分拡大展開図、図7は同じ実施例3を示すある程度折曲げた状態の斜視図及び図8は同じ実施例3の使用状態例を示す斜視図である。上記実施例2と同一の構成部分には同じ符号を使用し、同一の部分については説明を省略する。外周が円形になる鍔部25を有する鍔付容器26を形成するための略円形状のシート本体27に実施例2と同じように底部折目谷側線3と壁部折目谷側線5と鍔部折目谷側線8と壁部折目山側線10と鍔部折目山側線12と開口部折目山側線17と開口部折目谷側線18がひかれており、鍔部25の対向する2ヶ所に溝28、28が設けられている。鍔部25の縁29は折目線を折曲げ合わせたときに縁が正円を描くように少し波打ったような形状となっている。各折目線を折曲げ合わせて接着や融着することにより鍔付容器26が形成される。図8において、容器本体30に持手31を設けた容器32が空の状態で在り、容器本体30に鍔付容器26の容器本体14が収納されていて、持手31が起こし立てられその下方が溝28、28に充填込み立った状態が保持されている。鍔部の開口部縁は、実施例2の鍔付容器を容器に成形してから鍔部を円形にカットすればよい。円形といっても連続する波型や連続するギザギザ型などにカットされたものも、当然全体としては円形状になっているものとして、円形の概念の中に含まれるものである。

【0032】実施例4

図9は本発明の実施例4を示す斜視図及び図10は同じ

実施例4の使用状態を示す中央縦断面図である。薄い合成樹脂製部材からなる鍔付容器33は次のような構成となっている。容器本体34の開口部35から適宜な上昇する角度を付けて拡るように鍔部36が形成され、この鍔部36の外周に塗料容器37の開口部縁38の上部を被う被部39を設けた構成となっている。図10において、空の塗料容器37の容器本体41内に、鍔付容器33の容器本体34と鍔36が収納され、開口部38が被部39により被われ鍔付容器33が動かないように保持されている。40は持手である。

【0033】実施例5

図11は本発明の実施例5の使用状態を示す斜視図及び図12は同じ実施例5の使用状態を示す中央縦断面図である。薄い合成樹脂製部材からなる鍔付容器42は次のような構成となっている。容器本体43の開口部44から適宜な上昇する角度を付けて拡るように鍔部45が形成され、この鍔部45の対向する2ヶ所をカットして溝46、46が設けられている。空の塗料容器47の容器本体50内に、鍔付容器42の容器本体43が収納され、鍔部45が塗料容器47の開口部48から外に出されている。そして、起こし立てられた持手49の下方が溝46、46に充填込み立った状態で保持されている。

【0034】実施例6

図13は本発明の実施例6の使用状態示す中央縦断面図である。薄い合成樹脂製部材からなる鍔付容器51は次のような構成となっている。容器本体52の開口部53から上昇する適宜な角度を付けて拡るように鍔部54が形成され、鍔部54の縁に水切部55が形成され、鍔部54の対向する2ヶ所をカットして溝56、56が設けられ、容器本体52の上方外側にはめ込み突起57が横に設けられている。空の塗料容器58の容器本体59内に、鍔付容器51の容器本体52が収納され、容器本体59の内側上方に設けられた横溝60にはめ込み突起57が充填込んで鍔付容器51が動かないよう固定され、塗料容器58の開口部61から鍔部54が出され、起こし立てられた持手62の下方が溝56、56に充填込み立った状態で保持されている。

【0035】実施例7

図14は本発明の実施例7を示す斜視図である。薄い合成樹脂製部材からなる鍔付容器63は次のような構成となっている。容器本体64の開口部65の約半分から上昇する適宜な角度を付けて拡るように鍔部66が形成され、開口部65の残りの半分には縁67が形成され、開口部65と縁67の境はカットされて溝68、68が設けられている。使用方法是実施例6と同じなので省略する。半分に鍔部がないので塗料容器の持手の上げ下げがスムーズに行なえ作業しやすい。

【0036】実施例8

図15は本発明の実施例8を示す斜視図である。薄い合成樹脂製部材からなる鍔付容器69は次のような構成と

なっている。容器本体の開口部 7 1 から拡るように
鋸部 7 2 が形成され、この鋸部 7 2 の対向する側が真っ
直カットされたようになっていて、塗料容器の持手が通
りやすくするためのカット部 7 3、7 3 となっている。
主に塗料容器の内容器として使用する。

【0037】実施例 9

図 1 6 は本発明の実施例 9 を示す斜視図である。表面が
ラミネート加工された紙製部材からなる鋸付容器 7 4 は
次のような構成となっている。四角体の容器本体 7 5 の
開口部 7 6 の前後に補強部 7 7 を設けた鋸部 7 8、7 8
が設けられ、開口部 7 6 の左右には塗料容器の持手の下
方が埋り込む溝 7 9 を設けた持手保持部 8 0、8 0 が突
設されている。

【0038】実施例 10

図 1 7 は本発明の実施例 10 の使用状態を示す斜視図で
ある。可燃性部材からなる刷毛等の扱き補助具 8 1 は次
のような構成となっている。塗料容器等の内側に入る貫
通した挿入部 8 2 の開口部 8 3 から拡るように鋸部 8 4
が形成され、鋸部 8 4 の対向する 2 ヶ所をカットして溝
8 5、8 5 が設けられている。使用例を図 1 7 のおいて
説明すると、挿入部 8 2 を袋 8 6 に入れ、これを塗料容
器 4 7 の容器本体 5 0 に収納する。袋 8 6 を広げ、持手
4 9 を起こし下方を溝 8 5、8 5 に埋り込ませ立った状
態に保持する。塗料を入れて作業する。使用後は袋とと
もに塗料の付着したまま焼却するなどして処分する。

【0039】実施例 11

図 1 8 は本発明の実施例 11 を示す展開図、図 1 9 は同
じ実施例 11 の容器にした状態の斜視図である。鋸付容
器 8 7 は次のような構成となっている。塗料が漏れないよ
うコーティングした強度のある紙製の四角形のシート本
体 8 8 に、容器本体 8 9 の底部 9 0 を形成するための四
角形の底部折目線 9 1 と、この底部折目線 9 1 の四角の
それぞれから外側に向かって中央折目線 9 2 がひかれ、
この中央折目線 9 2 の始点 9 3 を始点にして中央折線 9
2 の左右に容器本体 8 9 の側壁を形成するための側壁折
目線 9 4、9 5 が底部折目線 9 1 から内側に 5 度絞られ
てひかれている。さらに、シート本体 8 8 の外周と中央
折目線 9 2 の接点 9 6 より外側に、容器本体 8 9 の開口
部 9 7 の上に形成される鋸部 9 8 が設けられている。各
折目線を折曲げて合わせ接合すると、鋸部 9 8 が上方に
突き出した鋸付容器 8 7 が出来上る。鋸部 9 8 を開口部
9 7 で外側に折り返して傾斜を付け扱き部分 9 9 を形成
する。ある程度強度があるので持手を取り付け、そのま
ま塗料を注ぎ入れ使用する。強度のない素材を使用した
場合は、内容器として使用する。折目線の構成が簡単な
ので、折目線をつけた適宜な場所に粘着材を塗布したシ
ート状態で提供しても、使用者が簡単に現場などで容器
に組み立て使用できる。使用後は塗料の付着したまま焼
却するなどして処理する。

【0040】

【発明の効果】本発明に係る鋸付容器は上述したような
構成としたので、以下に述べるような効果を奏する。底
部折目谷側線、壁部折目谷側線、壁部折目山側線、鋸部
折目谷側線、鋸部折目山側線をつけ、容器にして適宜な
場所を接着や融着することにより、略円筒形の鋸付きの
容器が簡単に形成できる。すなわち、紙シートなど安価
で処理しやすい材料で鋸付容器を安価に製造できる。こ
の鋸付容器を塗料容器の内容器として使用すれば 鋸付
容器の開口部は刷毛を扱う格好の場所として使用でき
るので、快適な作業操作性を提供できる。この場合、塗装
容器は塗料で汚れることがないので、繰り返し使用で
きるうえに、鋸付容器を紙製部材や合成樹脂製部材にす
ることにより溶剤を使わずに使い棄て的に焼却などして
処理ができるので、経済的であり塗装業者が不当投棄
に走ることを防ぐことができる。

【0041】また、壁部折目谷側線と壁部折目山側線を
直線的なものにすることにより、折目を付けるための型
代を安価なものにでき、容器を成形しやすいものとする
ことができる。

【0042】また、四角形のシート本体を用いた鋸付容
器は、シート本体に底部折目谷側線、壁部折目谷側線、
壁部折目山側線、鋸部折目谷側線、鋸部折目山側線をつ
けて、容器にして適宜な場所を接着や融着することによ
り、略円筒形の四方に突き出し鋸を設けた鋸付きの容器
が形成できるので、塗料容器の鋸付内容器として使用で
きるとともに、突き出し鋸が折目線と合わさって独特の
美感と雰囲気を与えるので、例えば鑑賞植物を植えた鉢
入れ、帽子、紙屑を投げ込みやすい屑籠、電灯の傘など
として利用しても大変おもしろい。また、四角形に切断
したシートをそのまま成形するので、終始製造工程から
は切り屑が出ないので、労力の面でも場所の面でも大変
製造しやすく、その分よりコストの安い容器を提供でき
る。また、鋸部は容器に成形してからカットすればよい
ので、連続する波形、山形などいろいろな形状にカット
でき、突き出し鋸の部分を円形にカットすれば全体が優
しい感じになるなど、鋸部のカットのしかたによりいろ
いろの表情の容器や帽子を提供することができる。すな
わち、折目線のひかれた四角形のシートをベースにして、
鋸を成形するためのカッターのみを変えればよいので、
多様な形状の容器を安価に製造できるのである。

【0043】また、外周が円形になる鋸部を開口部に有
する容器を形成するための略円形状のシート本体を用い
た鋸付容器は、底部折目谷側線、壁部折目谷側線、壁部
折目山側線、鋸部折目谷側線、鋸部折目山側線を折り曲
げて容器にし、容器形状が保持されるように適宜な場所
を接着や融着することにより、略円筒形の容器に円形の
鋸を設けた鋸付きの容器が形成できるので、紙シート
など安価で処理しやすい材料で円形の鋸を持った鋸付容
器を安価に製造できる。この鋸付容器を塗料容器の内容
器として使用すれば 鋸付容器の開口部は刷毛を扱う格

好の場所として使用できるので、快適な作業操作性を提供できる。また、円形の罫と折目線が独特の美感と雰囲気を与えるので、例えば鑑賞植物を植えた鉢入れ、飾りものの入れ、帽子などとして利用しても大変おもしろい。

【0044】また、底部折目谷側線と対向する開口部線部分を開口部折目谷側線とし、該開口部折目谷側線間の開口部線部分を開口部折目山側線とした罫付容器は、開口部線が谷・山の折目線を交互形成してあるので、罫付容器成形のさい開口部折目谷側線と開口部折目山側線が容易に折曲がり、罫部の歪のない容器を容易に成形できる。特に、折目線のつけられたシート状の状態では使用者に提供しても、使用者が折目線を折り曲げて容易に容器を作ることができる。折目線付きのシートで提供する場合、製造コスト、包装、運送コストなどが安価に済み、極めて安価なものが提供でき、使い棄て容器として大変使用しやすく最適である。また、シートで提供する場合適宜な場所に粘着剤などを塗布しておくのが好ましいことは言うまでもない。

【0045】また、長さを調節できる持手を設けた罫付容器は、持手付きの容器として使用できるとともに、帽子として使用した場合には持手を顎紐として使用できるので大変便利である。

【0046】また、罫付容器の容器本体の開口部から払るように形成された罫部を設けた罫付容器は、該容器本体の開口部を刷毛の扱き場所として使用しても、扱き取った塗料が罫部の外に溢れることが防止されるので、塗装作業中の刷毛の扱き操作が快適に行なえる。また、塗装容器は塗料で汚れることがないので、繰り返し使用できるうえに、罫付容器を紙製部材や合成樹脂製部材にすることにより溶剤を使わずに使い棄て的に焼却などして処理ができるので、経済的であり塗装業者が不当投棄に走ることを防ぐことができる。

【0047】また、塗料容器等のエリア内に入る罫部と、この罫部の外周に形成された前記塗料容器等の開口部縁の上部を被う被部とからなる罫付容器は、被部が塗料容器の開口部縁を被い、罫部を含め罫付容器全体が塗料容器内に収納されるので、塗料を含んだ刷毛を罫付容器の容器本体の開口部で外に溢れさせることなく快適に扱くことができるとともに、罫部が塗装作業の邪魔にならない。

【0048】また、罫部に持手を立った状態に保持する溝を設けた罫付容器は、塗料容器等に罫付容器を収納し持手を起こし上げると該持手の下方が溝に填り込み、持手は塗料容器との開口部上に立った状態に保持される。これにより、従来いちいち持つたびに起こしていた持手を起こす必要がなく、腰を深く曲げる必要がなくなるので、腰への負担を軽減することができ、ギックリ腰などの事故を少なくできる。また、刷毛を持手に吊しておくことができ、刷毛の柄を塗料に付けなくて済むので大変便利である。

【0049】また、罫部を立てるとき持手の下方が通りやすくするため罫部の一部をカットしたカット部を設けた罫付容器は、刷毛の扱き操作快適に行なえるとともに、持手のお越し操作及び倒し操作が従来と同じようにできる。

【0050】また、容器を形成する四角形のシート本体と、このシート本体にひかれた底部折目線、中央折目線、側壁折目線と、前記容器本体の開口部縁上に形成される罫部とからなる罫付容器は次のような効果を奏する。四角形の空の塗料容器等に収納して、扱き場所付き内容器として使用でき大変便利である。また、適宜な場所に粘着剤などを塗布したシート状態でも、ユーザーが簡単に容器に仕上げるできるので、シート状態のまま極めて安価に提供できる。シート状なので、ある程度の数を車等に搭載しての移動でも、邪魔になることがない。さらに極めて安価で処理しやすいので、使用後は溶剤で洗うことなく処理でき、経済的なうえ作業効率もよく不当投棄などへの衝動を緩和することができる。

【0051】また、シート本体あるいは容器本体が紙製部材に合成樹脂製部材等をコーティングした部材からなっている罫付容器は、形崩れし難く水や溶剤を洩らさず焼却しやすい特性であるとともに安価なので、焼却などして処理が行ないやす。これにより、塗料の付着した容器などの不当投棄を減らすことができ、環境保全に促進することができる。

【0052】刷毛等の扱き補助具は補助具の開口部を刷毛扱き場所として使用し、持手は起こすと溝に填り込み立った状態に保持されるので刷毛のつり下げ場所として利用でき大変便利である。また、空の塗料容器に合成樹脂製の内袋を収納して開口し、補助具の挿入部を差し込むことにより、袋の上方は挿入部によってカバーされるので（挿入部の長さによっては袋の下方までおよぶ。）、内袋の上部を塗料容器の開口部縁に捲り被せる必要がなく、塗料容器の内にピッタリと収まる容器の深さと同じくらいの内袋でよいのである。これにより、内袋の皺を少なくすることができ、見た目も作業性もよ内袋入りの塗料容器とすることができる。また、内袋の使用材料が最小でよくより安価な内袋を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1を示す展開図。

【図2】本発明の実施例1を示す折目線のある程度折曲げた状態の斜視図。

【図3】本発明の実施例1を示す罫付容器にした状態の斜視図。

【図6】本発明の実施例2を示す展開図。

【図5】本発明の実施例2の使用状態を示す斜視図。

【図6】本発明の実施例3を示す部分拡大展開図。

【図7】本発明の実施例3を示すある程度折曲げた状態の斜視図。

【図8】本発明の実施例3の使用状態例を示す斜視図。

【図 9】本発明の実施例 3 を示す斜視図。
 【図 10】本発明の実施例 4 の使用状態を示す中央縦断面図。
 【図 11】本発明の実施例 5 の使用状態を示す斜視図。
 【図 12】本発明の実施例 5 の使用状態を示す中央縦断面図。
 【図 13】本発明の実施例 6 の使用状態を示す中央縦断面図。
 【図 16】本発明の実施例 7 を示す斜視図。
 【図 15】本発明の実施例 8 を示す斜視図。
 【図 16】本発明の実施例 9 を示す斜視図。
 【図 17】本発明の実施例 10 の使用状態を示す斜視図。
 【図 18】本発明の実施例 11 を示す展開図。
 【図 19】本発明の実施例 11 の容器にした状態の斜視図。

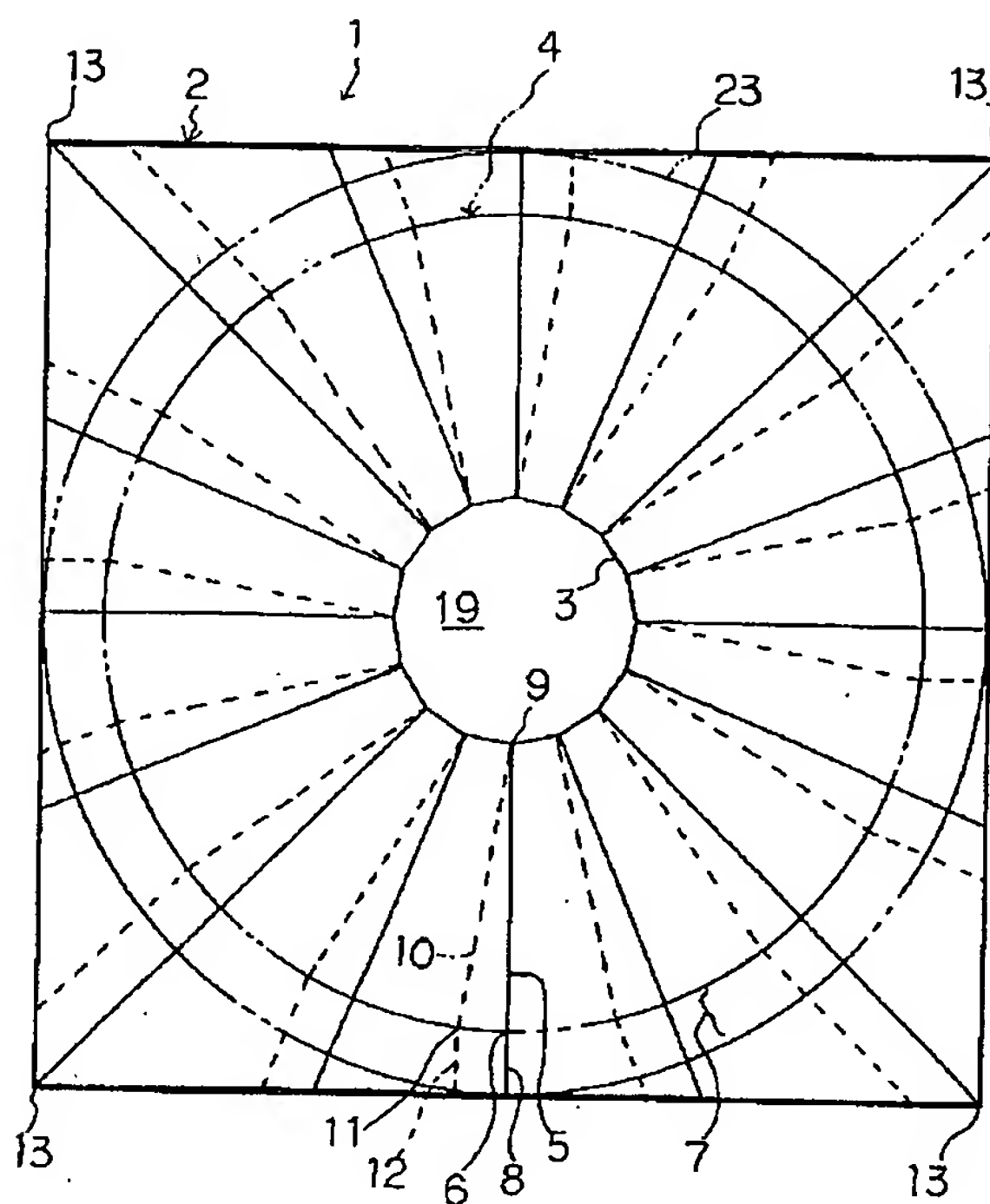
【符号の説明】

1 ----- 鍔付容器
 2 ----- シート本体
 3 ----- 底部折目谷側線
 4 ----- 開口部線
 5 ----- 壁部折目谷側線
 6 ----- 接点
 7 ----- 鍔部
 8 ----- 鍔部折目谷側線
 9 ----- 接点
 10 ----- 壁部折目山側線
 11 ----- 接点
 12 ----- 鍔部折目山側線
 13 ----- 突き出し鍔
 14 ----- 容器本体
 15 ----- 開口部
 16 ----- 鍔付容器
 17 ----- 開口部折目山側線
 18 ----- 開口部折目谷側線
 19 ----- 底部
 20 ----- 鍔開口部折目谷側線
 21 ----- 鍔開口部山側線
 22 ----- 鍔開口部
 23 ----- 鍔開口部線
 24 ----- 持手
 25 ----- 鍔部
 26 ----- 鍔付容器
 27 ----- シート本体
 28 ----- 溝
 29 ----- 縁
 30 ----- 容器本体
 31 ----- 持手
 32 ----- 容器
 33 ----- 鍔付容器

34 ----- 容器本体
 35 ----- 開口部
 36 ----- 鍔部
 37 ----- 塗料容器
 38 ----- 開口部縁
 39 ----- 被部
 40 ----- 持手
 41 ----- 容器本体
 42 ----- 鍔付容器
 43 ----- 容器本体
 44 ----- 開口部
 45 ----- 鍔部
 46 ----- 溝
 47 ----- 塗料容器
 48 ----- 開口部
 49 ----- 持手
 50 ----- 容器本体
 51 ----- 鍔付容器
 52 ----- 容器本体
 53 ----- 開口部
 54 ----- 鍔部
 55 ----- 水切部
 56 ----- 溝
 57 ----- はめ込み突起
 58 ----- 塗料容器
 59 ----- 容器本体
 60 ----- 横溝
 61 ----- 開口部
 62 ----- 持手
 63 ----- 鍔付容器
 64 ----- 容器本体
 65 ----- 開口部
 66 ----- 鍔部
 67 ----- 縁
 68 ----- 溝
 69 ----- 鍔付容器
 70 ----- 容器本体
 71 ----- 開口部
 72 ----- 鍔部
 73 ----- カット部
 74 ----- 鍔付容器
 75 ----- 容器本体
 76 ----- 開口部
 77 ----- 補強部
 78 ----- 鍔部
 79 ----- 溝
 80 ----- 持手保持部
 81 ----- 刷毛等の扱き補助具
 82 ----- 挿入部
 83 ----- 開口部

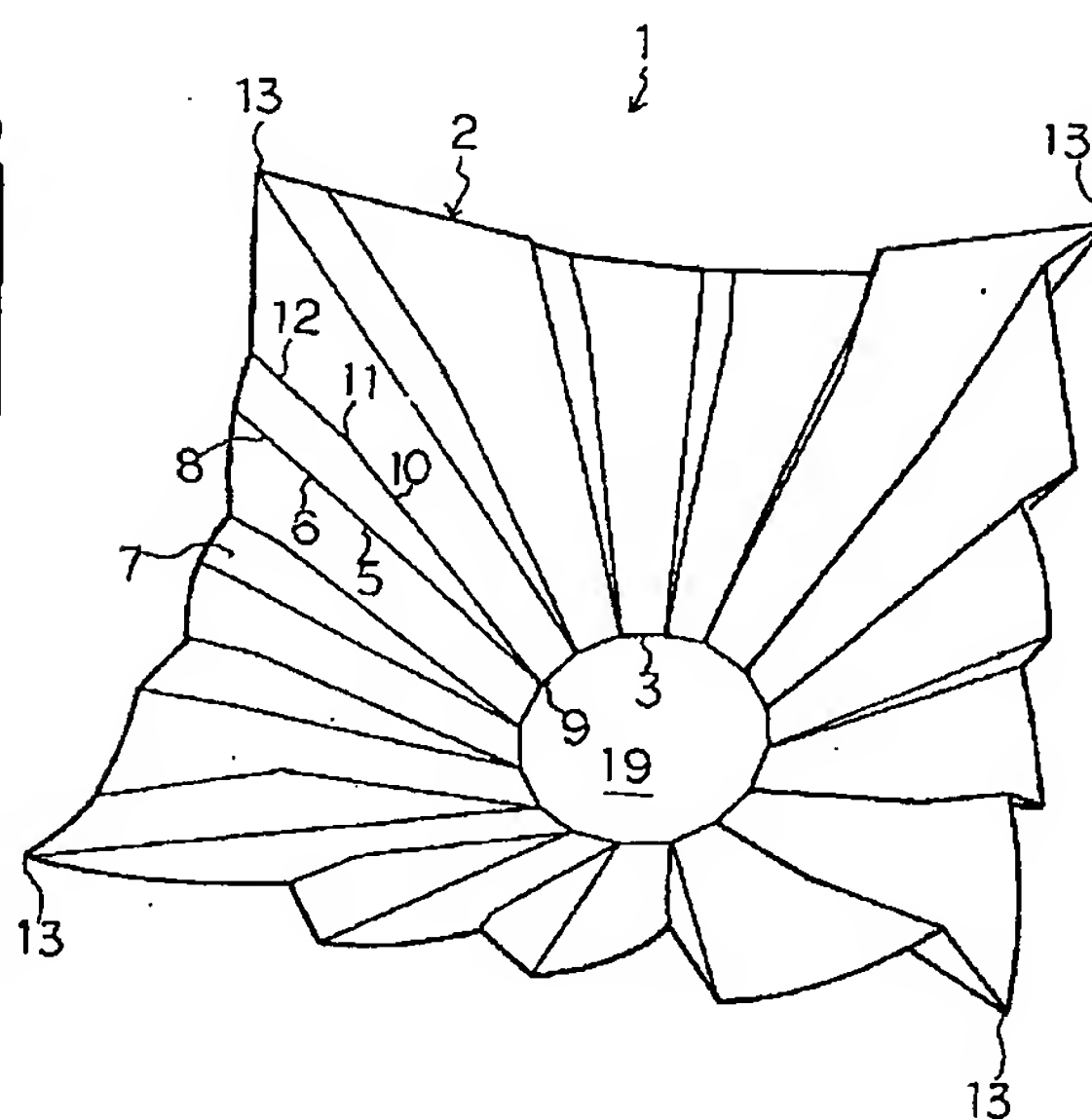
- 84 ----- 袋
- 85 ----- 溝
- 86 ----- 袋
- 87 ----- 鋳付容器
- 88 ----- シート本体
- 89 ----- 容器本体
- 90 ----- 底部
- 91 ----- 底部折目線

【図1】



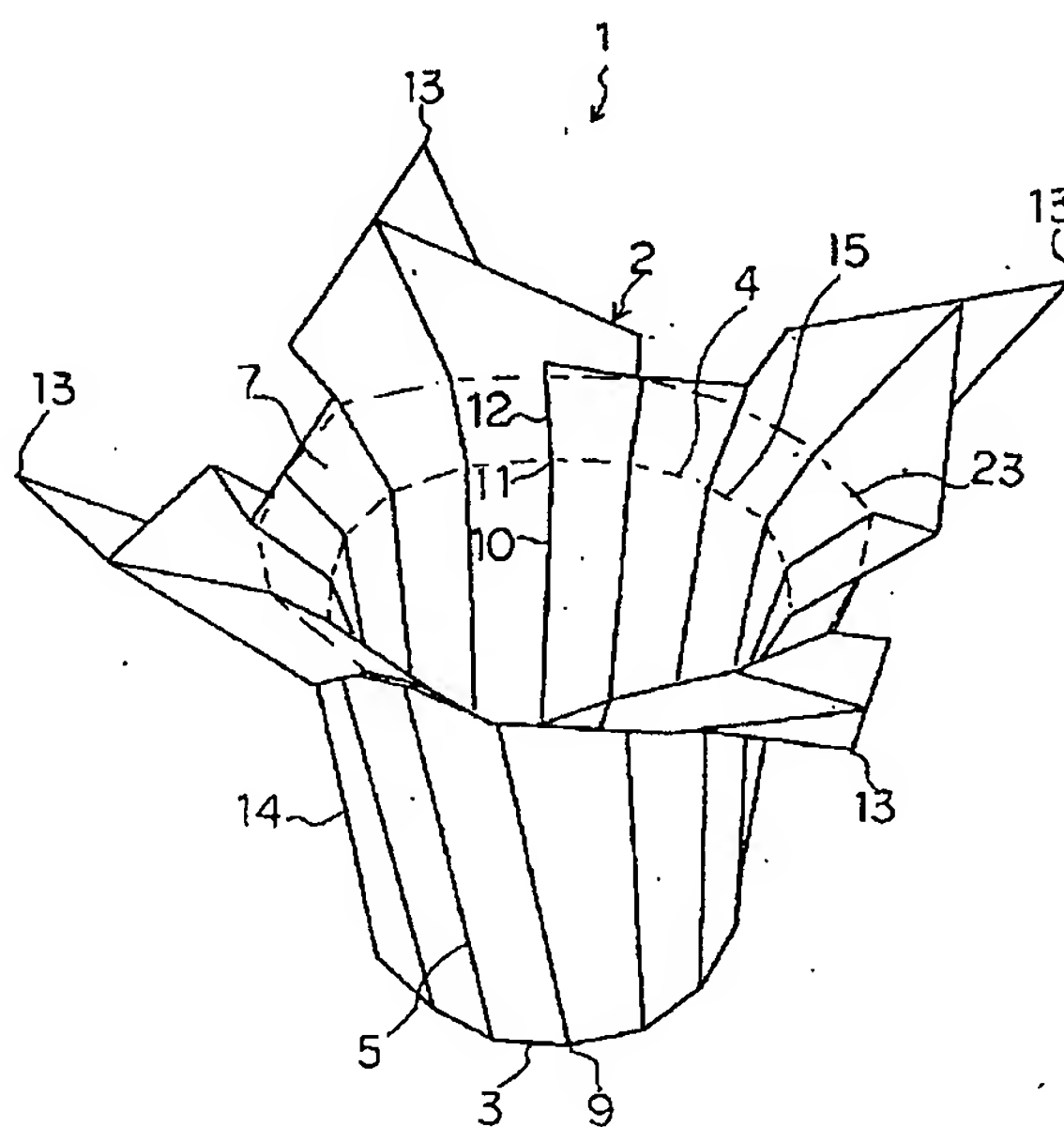
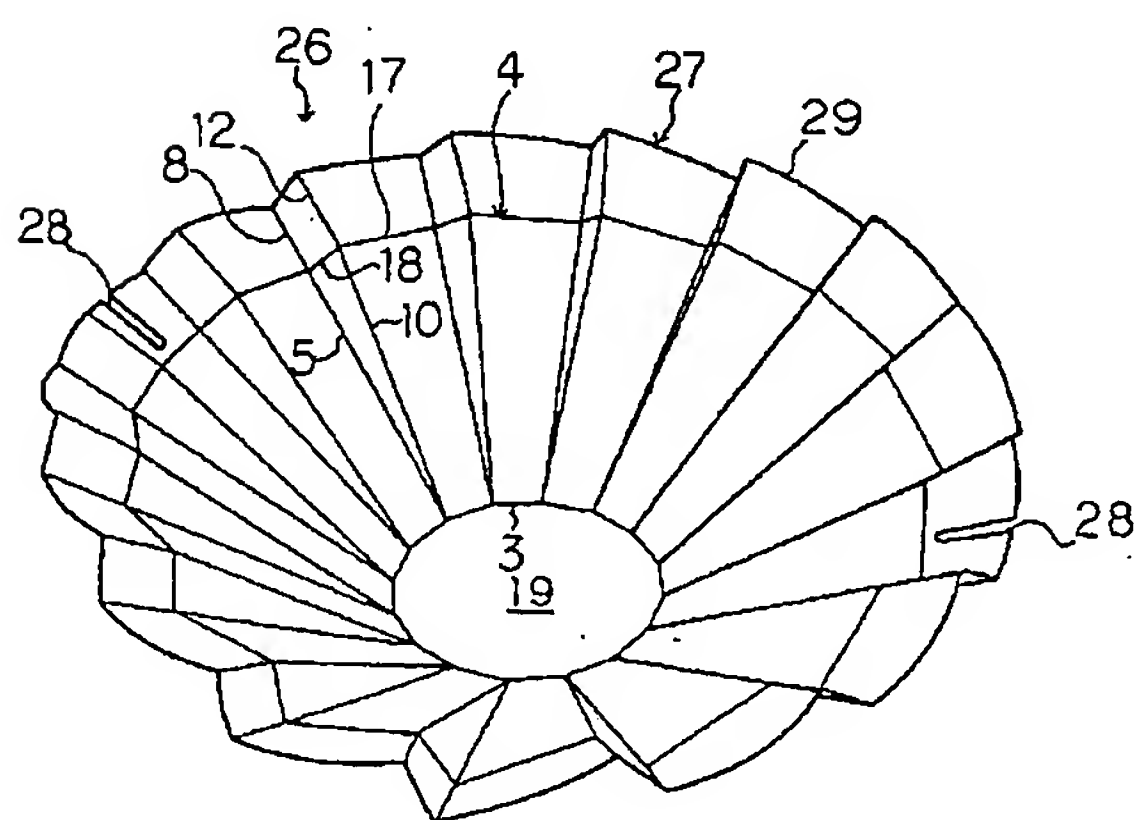
- 92 ----- 側壁折目線
- 93 ----- 始点
- 94 ----- 側壁折目線
- 95 ----- 側壁折目線
- 96 ----- 接点
- 97 ----- 開口部
- 98 ----- 鋳部
- 99 ----- 抜き部分

【図2】

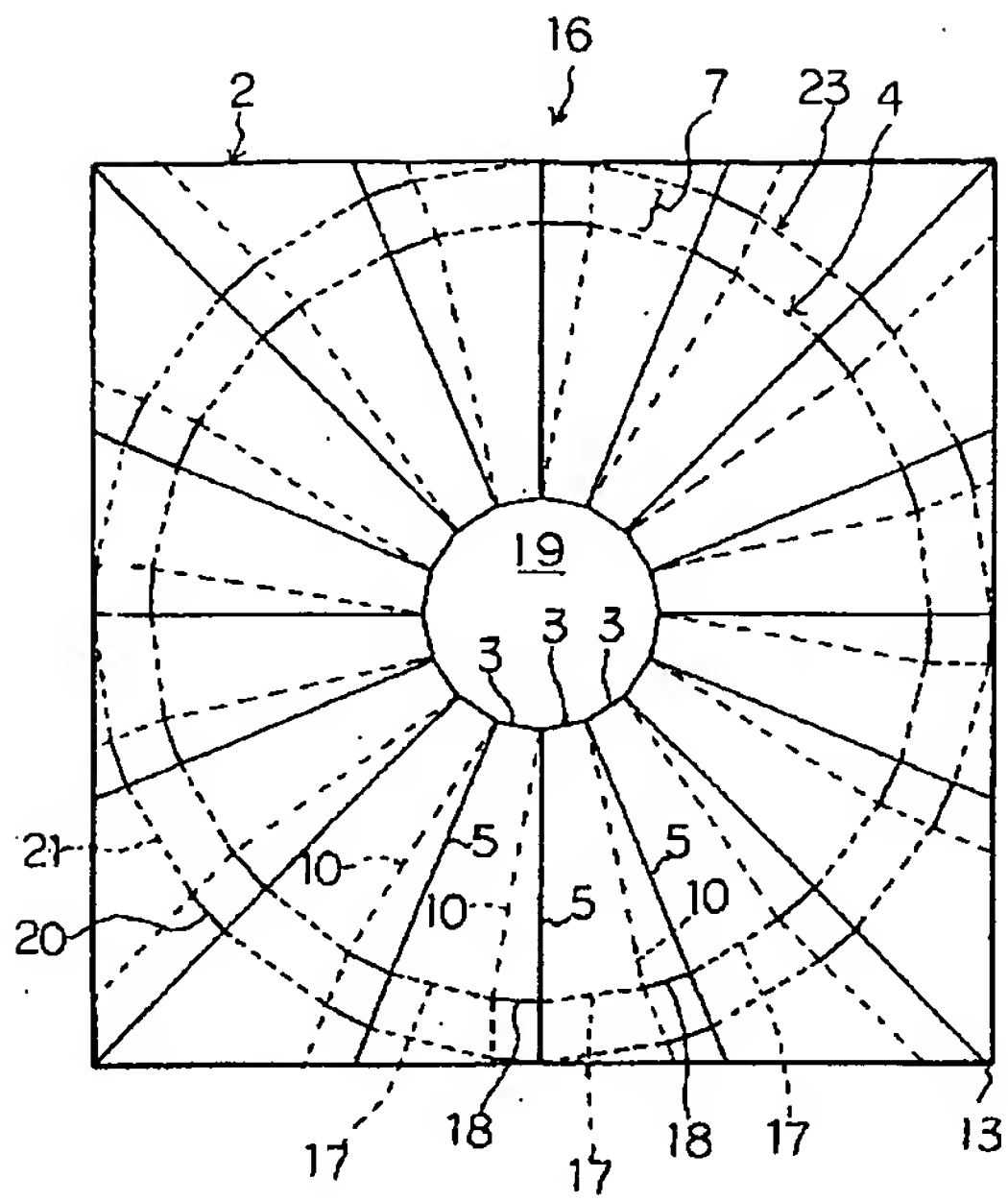


【図3】

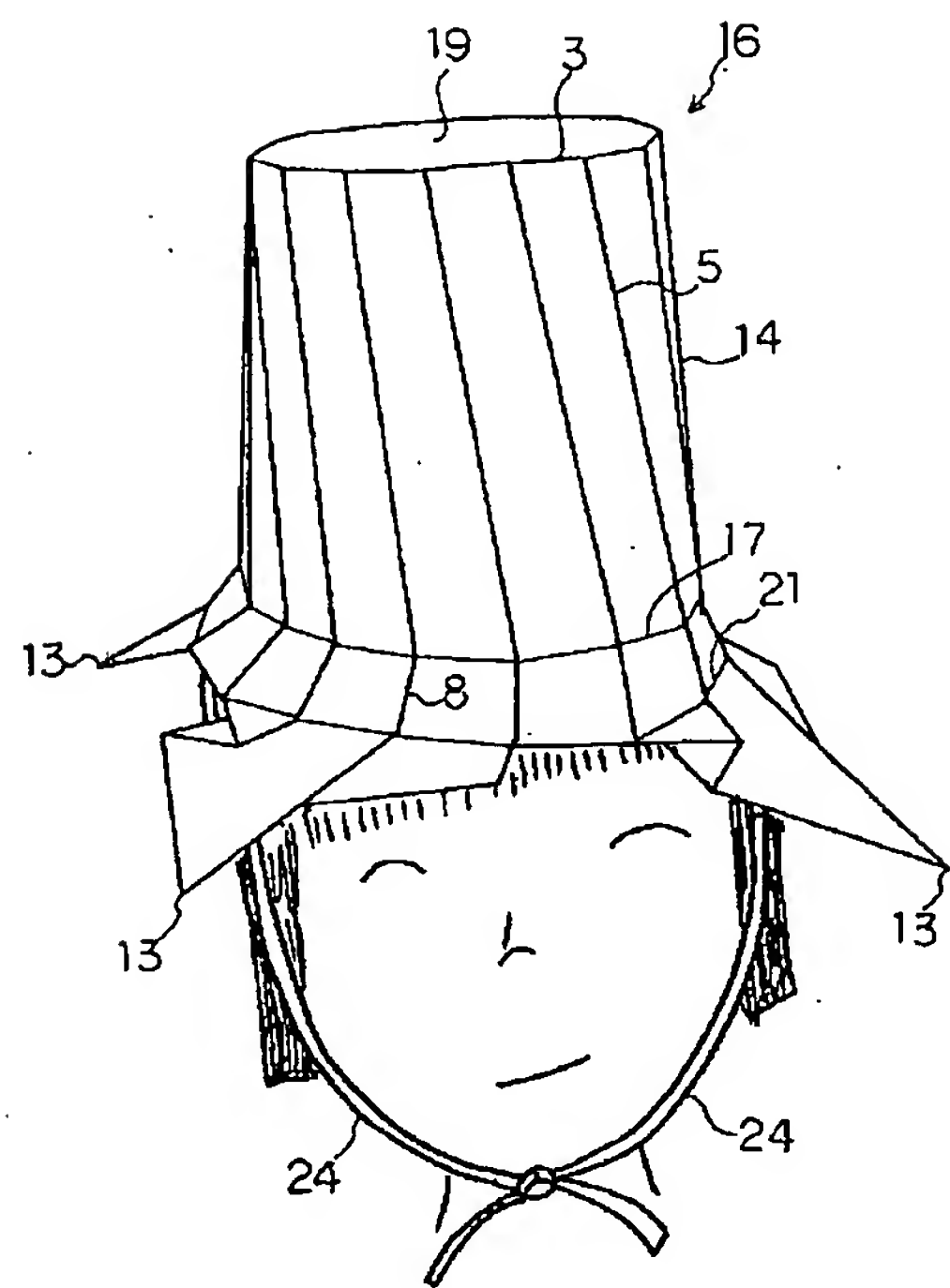
【図7】



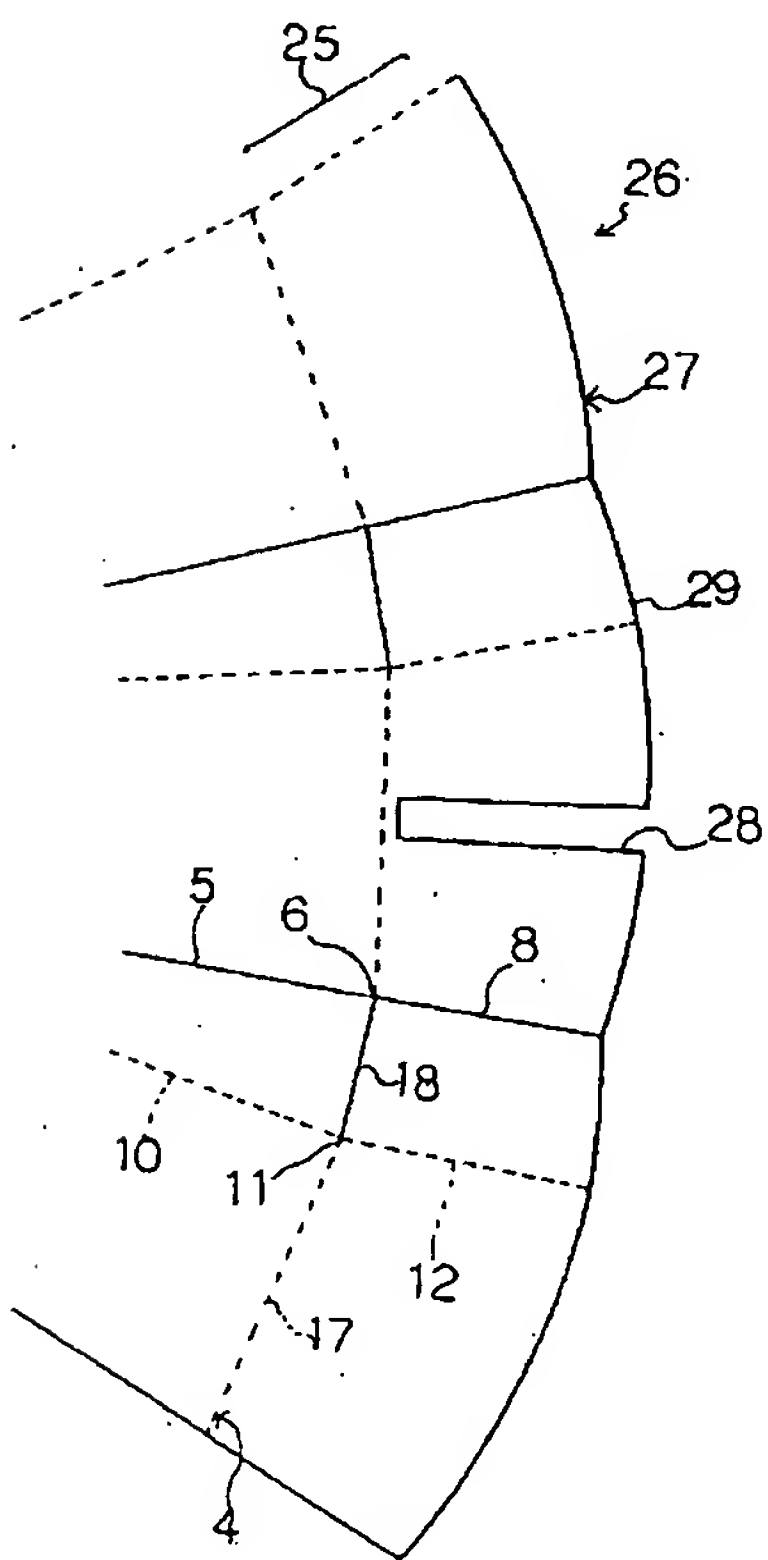
【図4】



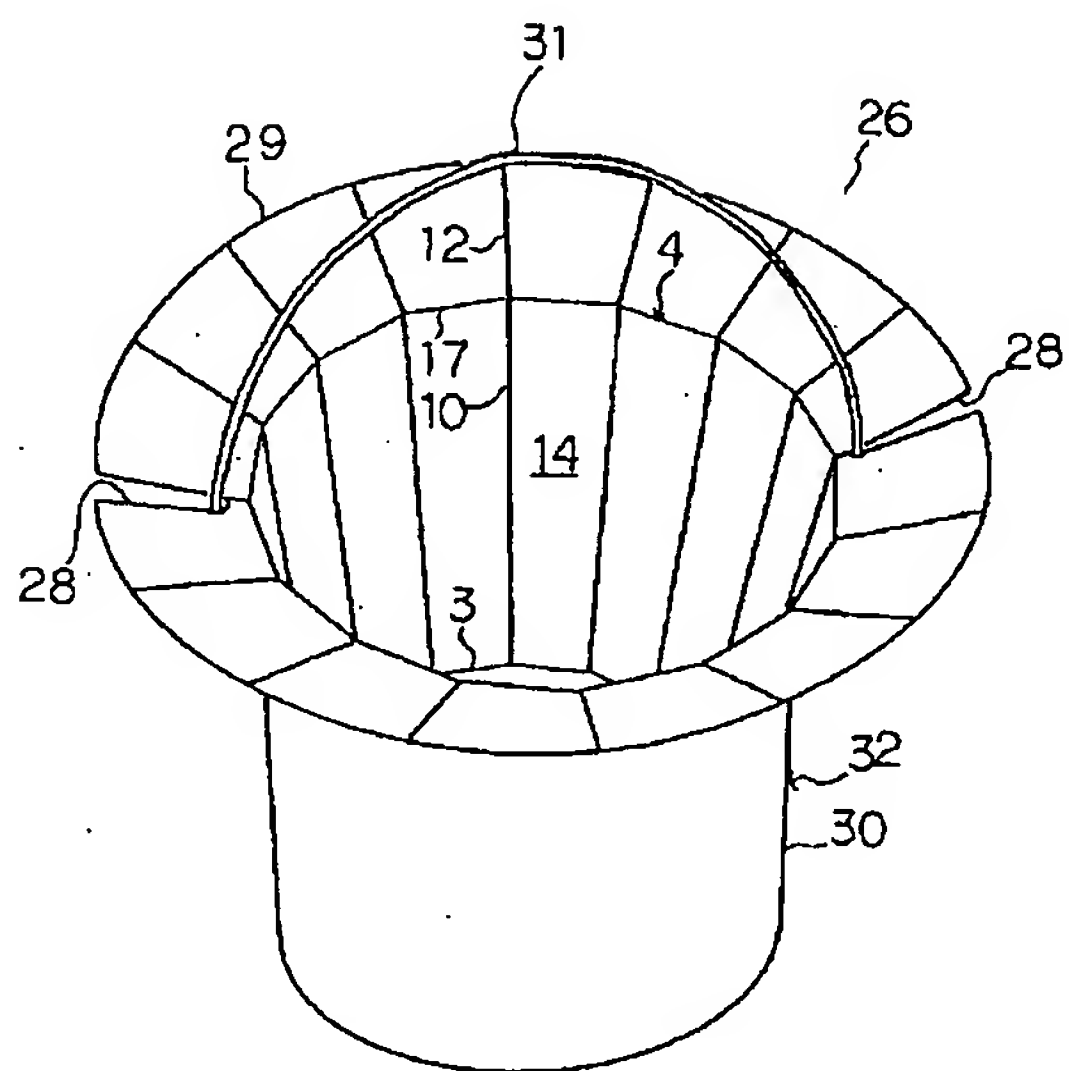
【図5】



【図6】



【図8】

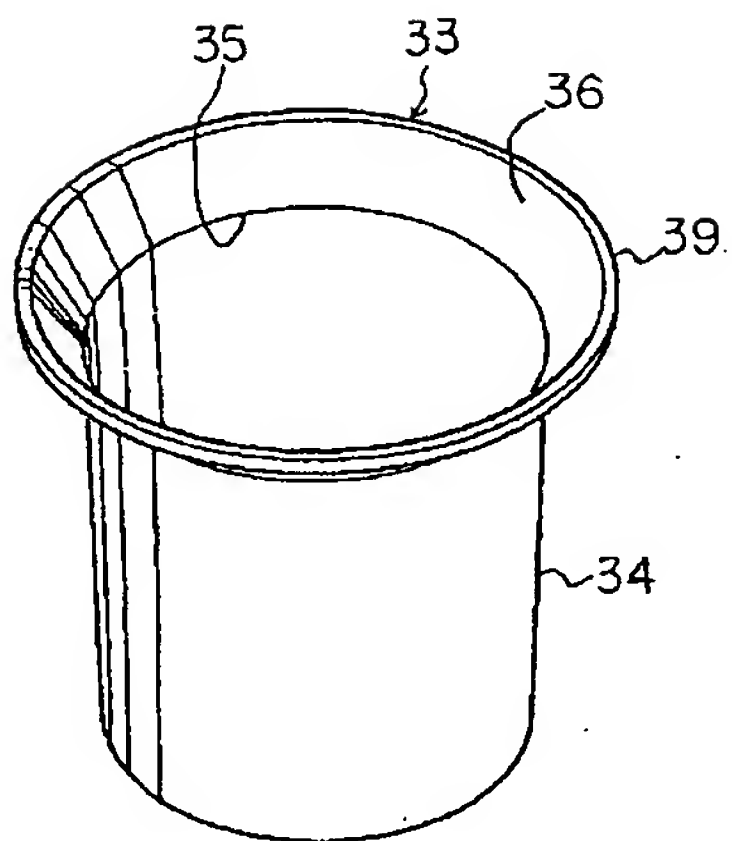




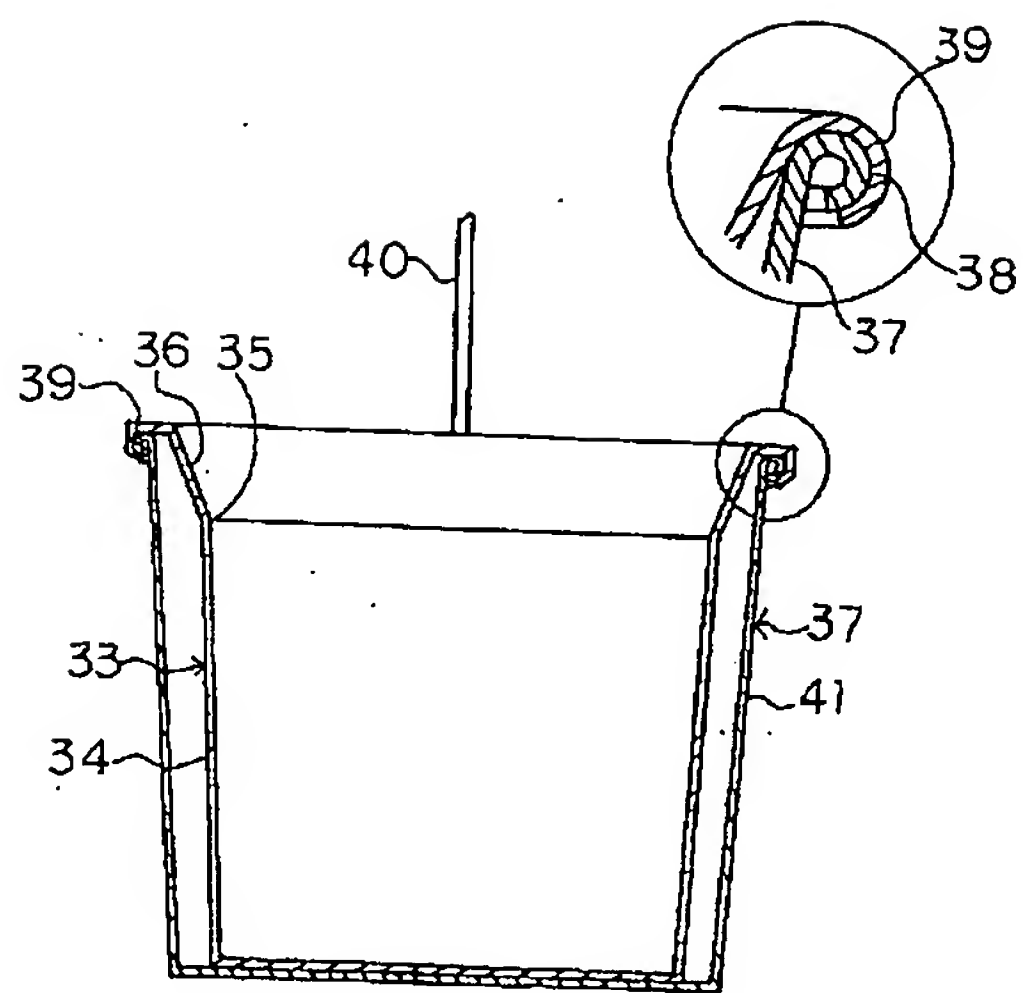
【図9】



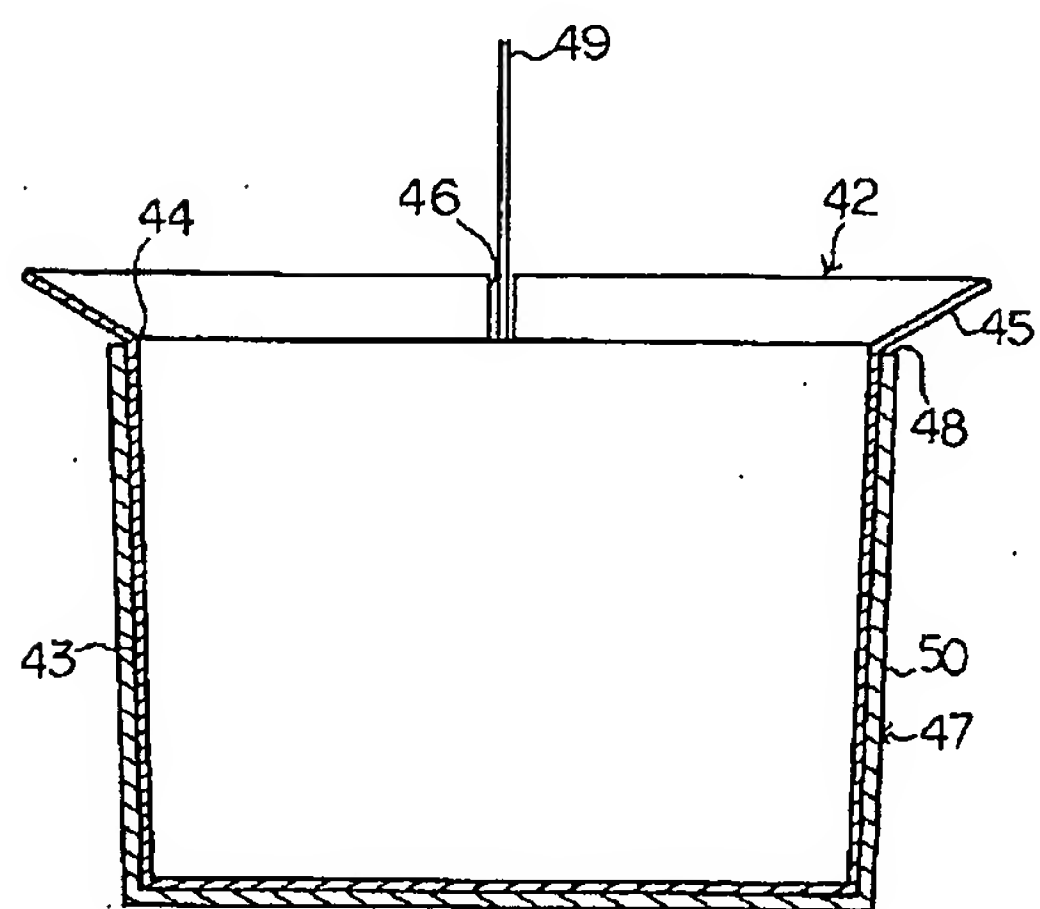
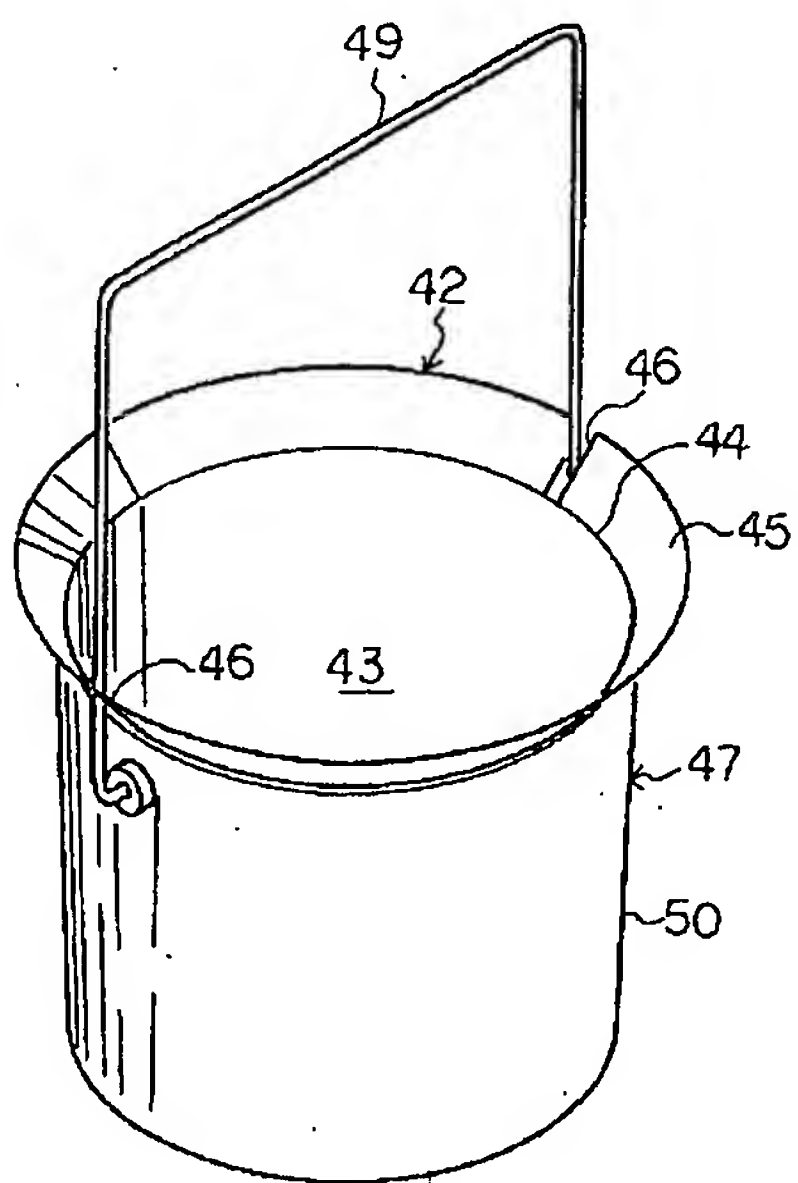
【図10】



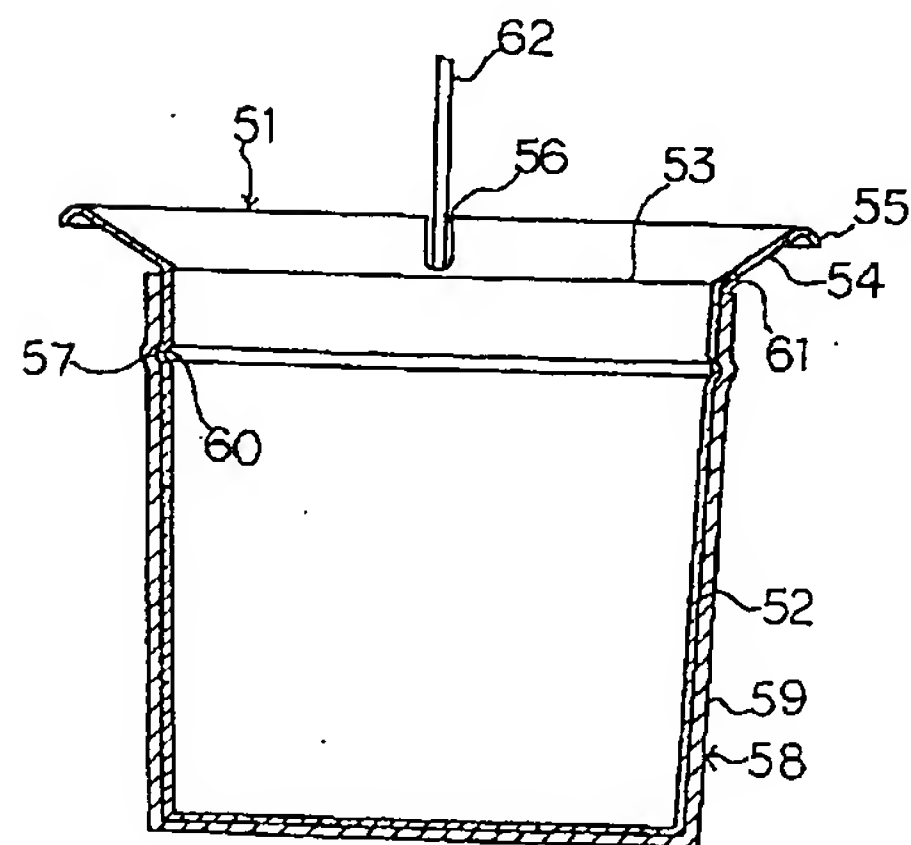
【図11】



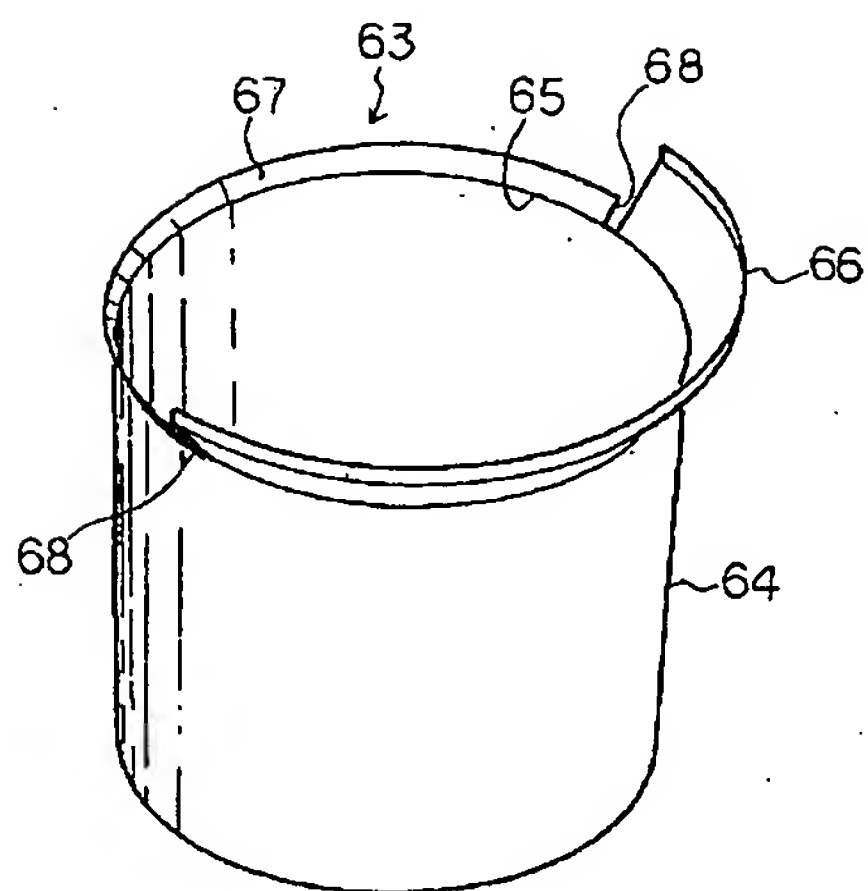
【図12】



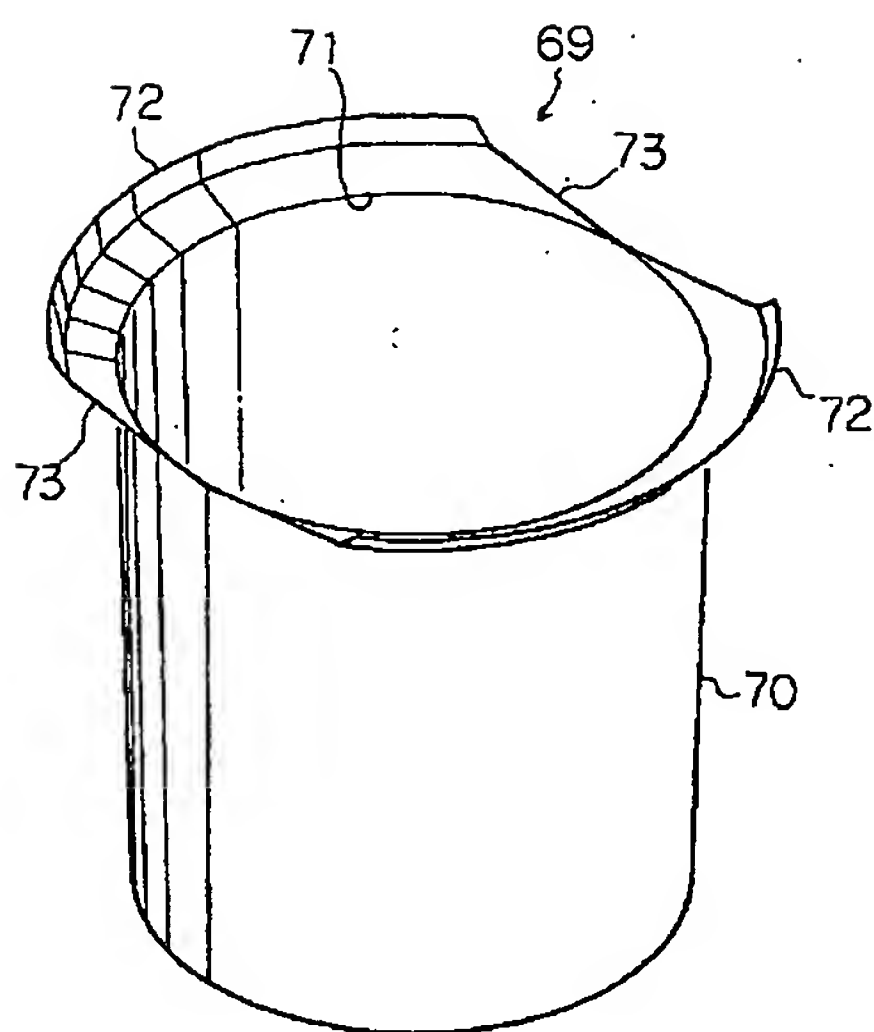
【図13】



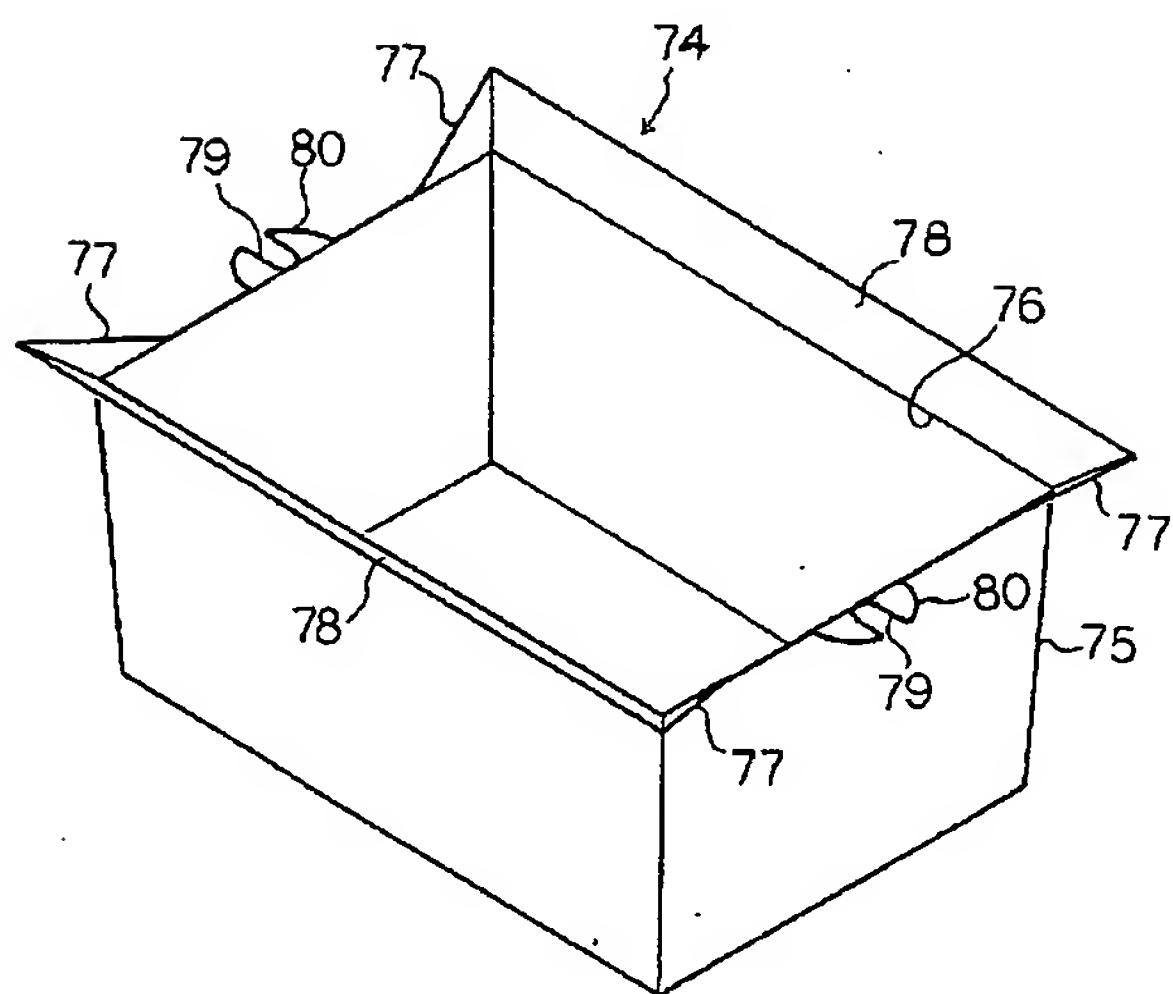
【図14】



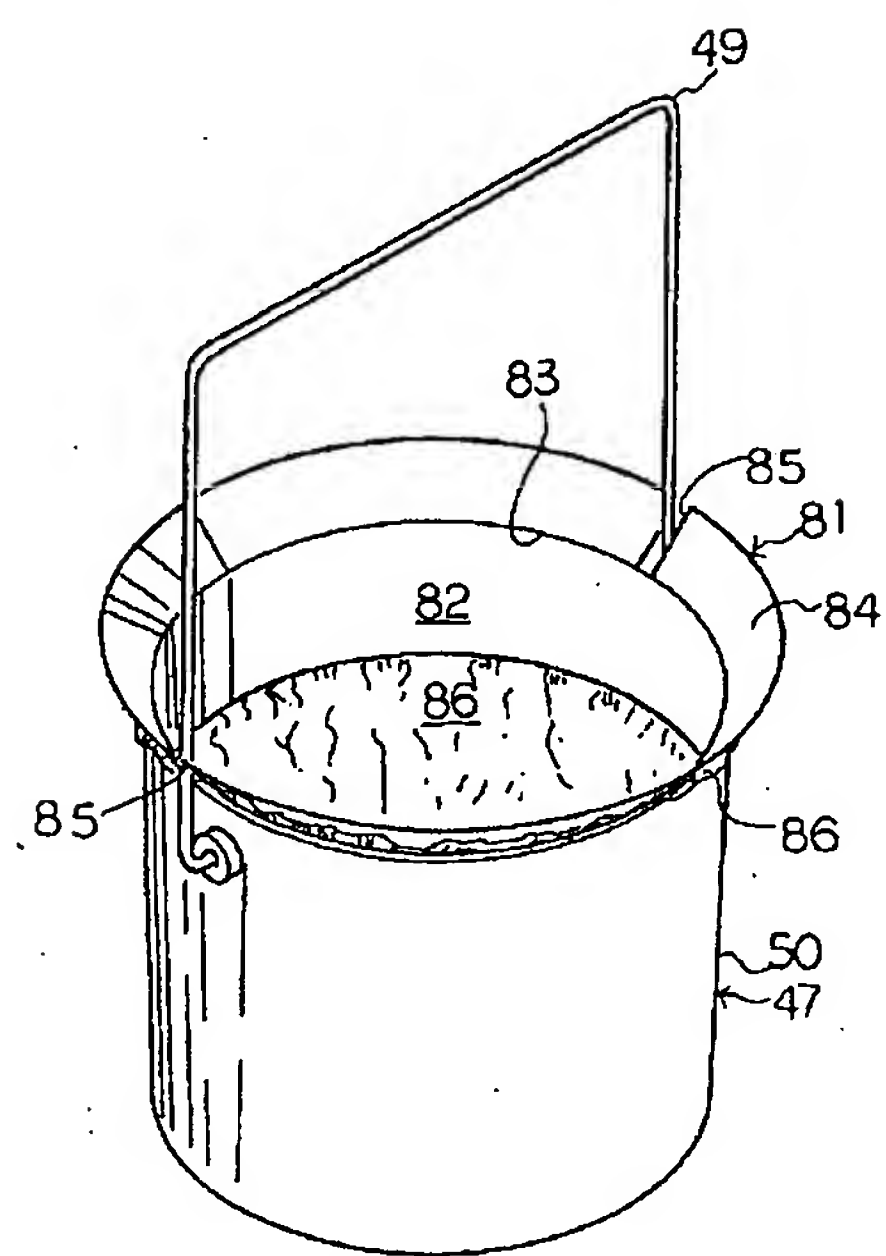
【図15】



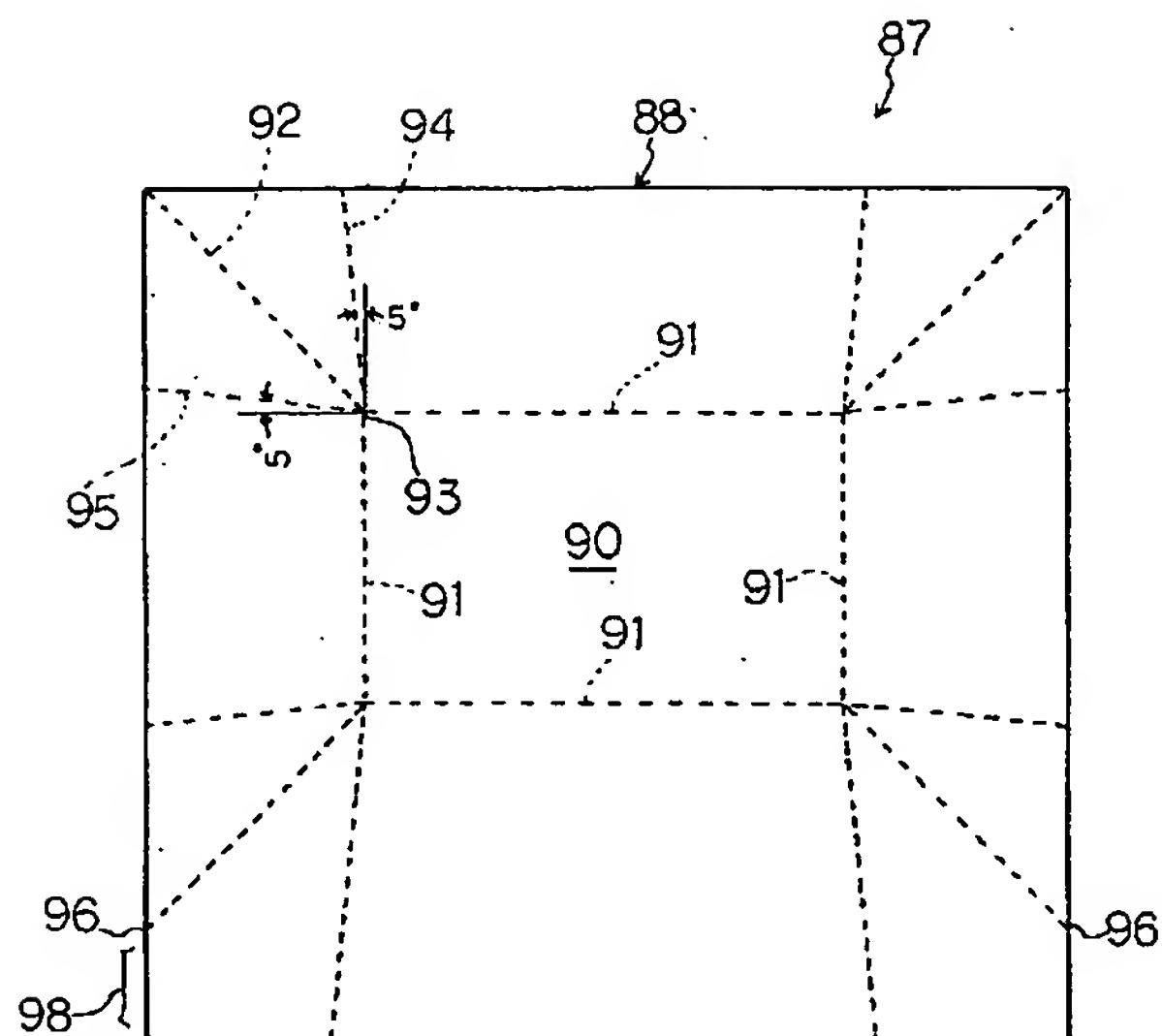
【図16】



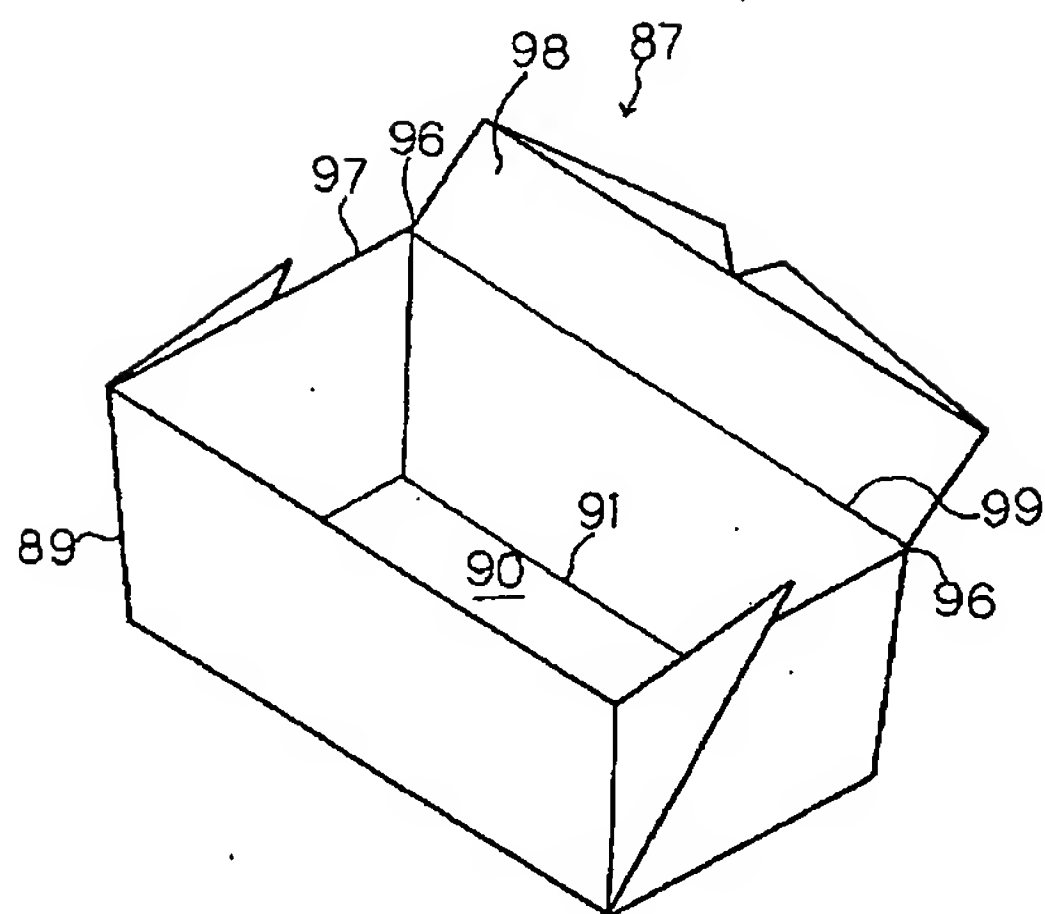
【図17】



【図18】



【図19】



【手続補正書】

【提出日】平成8年1月18日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1を示す展開図。

【図2】本発明の実施例1を示す折目線のある程度折曲げた状態の斜視図。

【図3】本発明の実施例1を示す鍔付容器にした状態の斜視図。

【図4】本発明の実施例2を示す展開図。

【図5】本発明の実施例2の使用状態を示す斜視図。

【図6】本発明の実施例3を示す部分拡大展開図。

【図7】本発明の実施例3を示すある程度折曲げた状態の斜視図。

【図8】本発明の実施例3の使用状態例を示す斜視図。

【図9】本発明の実施例4を示す斜視図。

【図10】本発明の実施例4の使用状態を示す中央縦断面図。

【図11】本発明の実施例5の使用状態を示す斜視図。

【図12】本発明の実施例5の使用状態を示す中央縦断面図。

【図13】本発明の実施例6の使用状態示す中央縦断面図。

【図14】本発明の実施例7を示す斜視図。

【図15】本発明の実施例8を示す斜視図。

【図16】本発明の実施例9を示す斜視図。

【図17】本発明の実施例10の使用状態を示す斜視図。

【図18】本発明の実施例11を示す展開図。

【図19】本発明の実施例11の容器にした状態の斜視図。

【符号の説明】

- 1 ----- 鍔付容器
- 2 ----- シート本体
- 3 ----- 底部折目谷側線
- 4 ----- 開口部線
- 5 ----- 壁部折目谷側線
- 6 ----- 接点
- 7 ----- 鍔部
- 8 ----- 鍔部折目谷側線
- 9 ----- 接点
- 10 ----- 壁部折目山側線
- 11 ----- 接点
- 12 ----- 鍔部折目山側線
- 13 ----- 突き出し鍔
- 14 ----- 容器本体
- 15 ----- 開口部
- 16 ----- 鍔付容器
- 17 ----- 開口部折目山側線

18-----折目谷側線
 19-----底部
 20-----鍔開口部折目谷側線
 21-----鍔開口部山側線
 22-----鍔開口部
 23-----鍔開口部線
 24-----持手
 25-----鍔部
 26-----鍔付容器
 27-----シート本体
 28-----溝
 29-----縁
 30-----容器本体
 31-----持手
 32-----容器
 33-----鍔付容器
 34-----容器本体
 35-----開口部
 36-----鍔部
 37-----塗料容器
 38-----開口部縁
 39-----被部
 40-----持手
 41-----容器本体
 42-----鍔付容器
 43-----容器本体
 44-----開口部
 45-----鍔部
 46-----溝
 47-----塗料容器
 48-----開口部
 49-----持手
 50-----容器本体
 51-----鍔付容器
 52-----容器本体
 53-----開口部
 54-----鍔部
 55-----水切部
 56-----溝
 57-----はめ込み突起
 58-----塗料容器

59-----器本体
 60-----横溝
 61-----開口部
 62-----持手
 63-----鍔付容器
 64-----容器本体
 65-----開口部
 66-----鍔部
 67-----縁
 68-----溝
 69-----鍔付容器
 70-----容器本体
 71-----開口部
 72-----鍔部
 73-----カット部
 74-----鍔付容器
 75-----容器本体
 76-----開口部
 77-----補強部
 78-----鍔部
 79-----溝
 80-----持手保持部
 81-----刷毛等の扱き補助具
 82-----挿入部
 83-----開口部
 84-----鍔部
 85-----溝
 86-----袋
 87-----鍔付容器
 88-----シート本体
 89-----容器本体
 90-----底部
 91-----底部折目線
 92-----中央折目線
 93-----始点
 94-----側壁折目線
 95-----側壁折目線
 96-----接点
 97-----開口部
 98-----鍔部
 99-----扱き部分

フロントページの続き

(72)発明者 中谷 進
 山梨県中巨摩郡檜形町吉田898番地7-6
 号

(72)発明者 須藤 恵
 埼玉県川越市赤坂大野原718番 八洲工業
 株式会社川越工場内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.